2011年
ドイツ珍道中

2011年8月17日～26日

fortuna　SC事務局

遠征　member

No	Poj	氏名	在学中学校	No	Poj	氏名	在学中学校
1	DF	川合　航平	甲府南中学校	16	MF	穂坂　伊吹	甲府東中学校
2	DF	横森　祐介	竜王北中学校	17	MF	赤澤　凌斗	韮崎西中学校
3	MF	石橋　樹	梨大付属中学校	18	DF	福田翔一郎	駿台甲府中学校
4	MF	守屋　圭人	竜王北中学校	19	GK	堀江　雄大	上条中学校
5	DF	伊藤　脩斗	甲府北西中学校	20	FW	相川　雄杜	玉幡中学校
6	DF	佐野　力	市川中学校	21	FW	佐野　遼平	押原中学校
7	FW	野中　裕太	田富中学校	22	MF	吉岡　瞭汰	田富中学校
8	MF	小俣　翔悟	島田中学校	23	DF	雨宮　輝也	玉幡中学校
9	DF	保坂　勇飛	竜王中学校	24	GK	深澤　駿平	増穂中学校
10	DF	平井　亜晃	竜王北中学校	25	MF	武井　虹輔	押原中学校
11	FW	原田　竜弥	八田中学校	26	MF	望月　海	櫛形中学校
12	MF	青沼　敦弥	甲府北西中学校	27	MF	大場　祐樹	竜王北中学校
13	DF	植松　優平	田富中学校	28		皆川　光	
14	MF	秋山　椋	田富中学校	29	監督	皆川　新一	代表
15	DF	西尾　優俊	甲西中学校				

上段左から、平井、横森、大場、川合、望月、深澤、福田、西尾、保坂、小俣、原田、伊藤、秋山、相川
中段左から、雨宮、光、野中、石橋、武井、佐野力、青沼、佐野遼平
下段左から、穂坂、植松、堀江、赤澤、吉岡、守屋

遠　征　先

国名	**Germany**
正式国名	ドイツ連邦共和国　**Bundesrepublik Deutschland**
国歌	ドイツ人の歌　**Deutschland-Lied**
面積	約**35**万**7021km²**　日本の約**0.95**倍
人口	約**8175**万人**(2010**年**)**　世界**16**位
首都	ベルリン　**Berlin**
元首	アンゲラ･メルケル
政体	連邦共和制
民族構成	ドイツ系がほとんど。ソルブ人、フリース人など少数民族も。総人口の**10%**弱は外国人。
宗教	キリスト教**(**プロテスタントとカトリックがほぼ半数ずつ**)**。

Nordrhein-Westfalen

ノルトライン-ヴェストファーレン州

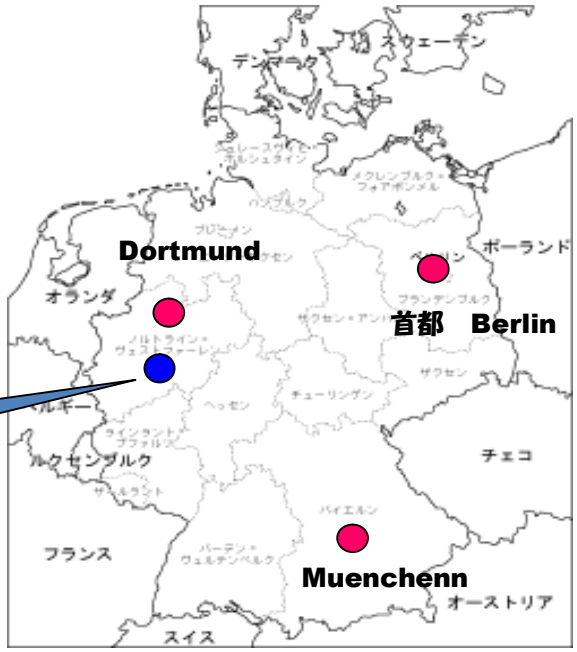
ドイツ西部に位置し、西はオランダ、南西はベルギーとの国境となる。

人口は約1,800万人

ヨーロッパを代表する工業地帯で、その代表する工業地ルール地方は州の南西部にある。

州都は、デュッセルドルフ、 代表である市は、ケルン、ドルトムント、エッセン、デュイスブルクがある。

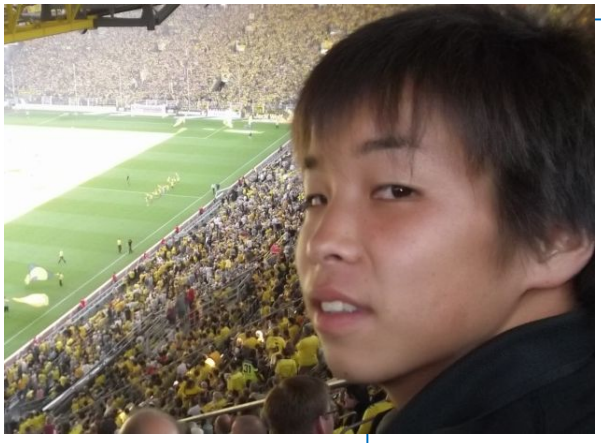
Stadt Hilden



遠征に先立って　①

Shoichiro　Fukuda　【福田翔一郎】

ドイツに行くに先立って、僕は「たくさんの人に支えられている」ということを意識して、この遠征に臨みたいと思っています。
この遠征にいけるのも、両親がお金を出してくれたり、旅行会社の人が安全や交通などを配慮してくれたり、監督が協会の仕事など忙しい中で組み立ててくれた予定など、数えてみればここに書ききれないくらい、様々な人が自分やチームのために関わってくれています。なので、僕はドイツで、ピッチ内、ピッチ外でも、様々なものを“観て”、“感じて”、“吸収して” きたいです。たとえば、試合では、相手選手のテクニックや貪欲にゴールを目指す姿勢、ピッチ外では、コミュニケーションや荷物管理など自立した行動を意識していきたいです。
ドイツの人達に「日本の人は、こんなレベルか！？」「他の日本のチームも同じような感じか！？」と無様な試合内容・行動をとって、このような印象を持たれたり、発言されたりしないよう、日本の誇りフォルトゥナのプライドを持って精一杯闘って、壁にぶち当たっていきたいです。そして感謝の気持ちを忘れずに、様々なことを自分のものにしていきたいです。



Tatsuki　Ishibashi　【石橋　樹】

僕はドイツ遠征を、楽しみにしてきました。ドイツ遠征に行く前に、どんなことをしようか？ということを考えました。
サッカーの面では、自分たちよりもスピードが速く、背が高い相手を目の前にして気持ちで負けず、勝ちにこだわって試合に臨んでいきたいです。そして試合で学んだことを練習や高円宮杯で生かしていきたい。また、サッカー以外の生活では、言葉も通じない初めての地ですが、周囲のドイツ人に積極的に話しかけ、ドイツ語を話せるようになって日本に帰ってきたいです。

観るもの聞くこと、体験することすべてが初めてのことですが、チャレンジする気持ちを常に持って過ごしていきたいと思っています。
そして少しでも多くのことを吸収し、出発前の自分より、ひと回りもふた回りも成長して帰ってきたいです。遠征で得たものを今後のサッカーや生活に生かしていけるように頑張りたいです。
そして仲間と協力して、このドイツ遠征を成功させ、一生の思い出になるようにしたいです。この遠征に参加させてくれた家族への感謝の気持ちを忘れずに明日から行ってきます。

遠征に先立って ②

Ryota Yoshioka 【吉岡 瞭汰】

ドイツ遠征を前にして、とてもワクワク、ドキドキしています。他の国の人とサッカーを一緒にできることがとても楽しみです。サッカーの面では、自分がドイツ人とやって、アグレッシブにどれくらい闘えるのかが楽しみです。強い気持ちをもって、ドイツ人相手でも負けないように闘っていきたいと思います。
せっかくの外国なので有意義に過ごすためにも、普段体験することができないこともたくさんあると思うけど、進んで自分の力で乗り越えていきたいと思うし、ドイツの文化に触れて、ドイツならではの習慣とか生活ぶりなんかを感じてこれればよいと思います。そして、このドイツ遠征へ参加できることが感謝することと、サッカーをしてくれる相手や、ドイツ遠征に協力してくれている全ての人への感謝の気持ちを常に持っていき
たいです。
この10日間を充実させられるように有意義に過ごしていきたいと思います。

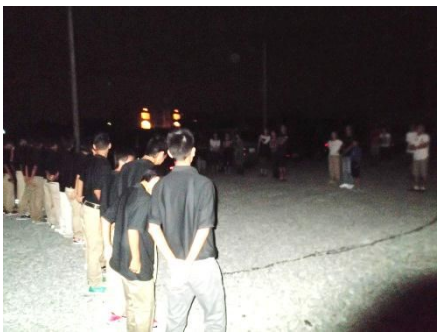
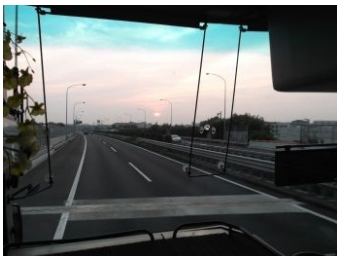
Ibuki Hosaka 【穂坂 伊吹】

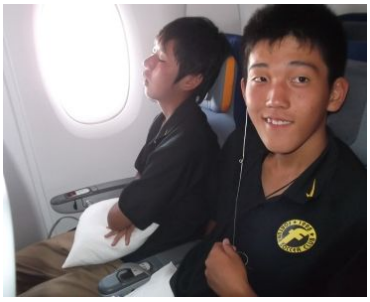
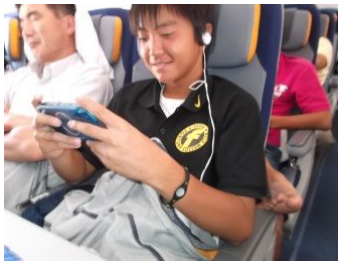
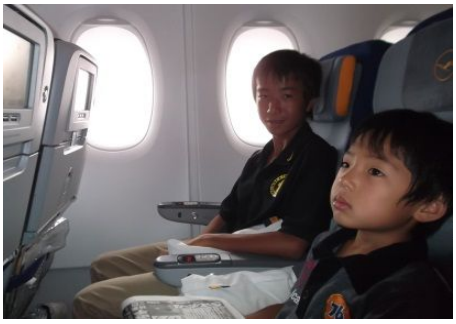
いよいよドイツ遠征が始まります。
僕はこのドイツ遠征をとても楽しみにしていました。でも、言葉も違い、不安のある所がたくさんあります。その日本とは違う文化を学んで、良いところは自分のものにしていきたいです。
ヨーロッパの人達とサッカーをやるのは初めてなので、外国の人たちにも通用するサッカーができるようにしていきたいです。
そして、家族にはたくさんのお金や迷惑をかけているので、このドイツ遠征の一日一日を大切にして、10日間を楽しんでいきたいと思います。

遠征事前説明会

7月29日、八田ふれあい会館大ホールで事前説明会を開催。
夏休みに入り、西日本遠征、ハーブカップ他の活動の合間を縫って、行われた説明会。 お母さん、お父さんは心配と不安でいっぱい、子供たちは、期待と楽しさでいっぱい！！

2011年8月17日(水)　晴れ

Time	contents
＊3:55	**fap集合**  真夏とはいえ、まだまだ暗い時間。そんな早い時間、まだまだ眠い時間に集合し、家族の方々に出発のあいさつ･･･。
＊4:00	**fap出発**　貸し切りバスで出発しました。 いってきます 見送りのお母さんお父さん家族に、一時のお別れ･････子供たちは笑顔････見送る家族は不安いっぱいでひきつった顔･顔･･･でした。 
＊7:30	**成田国際空港着** 早速、荷物のチェック!! “バスへの忘れ物ありませんか???” 預けるスーツケースへの名札を取り付け･･･、いざ空港内へ！！
＊8:00	**出国手続き**
＊8:20	**GATE45**　出国手続きも無事通過し、飛行機へ乗るゲートの前に･･･。

Time	contents
＊9:00	そろそろ搭乗時間 我々が乗る飛行機 ☞ ルフトハンザドイツ航空 の エアバスA380 でかい飛行機だった。 飛行機が新しいので、機内もきれいだった。 シートもゆったり感があり、すわり心地は良かった。 飛んでからのエンジンの音もすごく静かで、安定感があり、乗り心地は非常に良かった。 **ただ、我々は団体にもかかわらず、席がみんなバラバラであった。 一人でぽつーんと座る選手もいて、10時間という飛行機の旅が長く感じるだろうなーと心配もしたが・・・・・。結局はみんなそれぞれで機内を楽しんだ模様だ。**
＊9:30	**Take off** 東京成田国際空港を飛び立つ。 機内での10時間、 くつろぎ方は毎回一緒！！ 寝るか！、 ボーっとするか！ ゲームするか！ 機内食は、まあまあでした。   

Time	contents

座ってばかりでは、エコノミー症候群になってしまうので、たまには立って歩かないとね・・・・・敦弥！！

2回目の機内食
ケーキは美味しかったね…光、どう？？

14:05 **Frankfurt am Main National Airport** 到着しまーす！

やっとたどり着いたドイツ。フランクフルトの街並みが見えてきた!! 高層ビルも建ち、フランクフルトタワーも見えてきた。 EUROの中心的な都市・・・・フランクフルト

フランクフルト国際空港へ無事着陸！ 良かった。

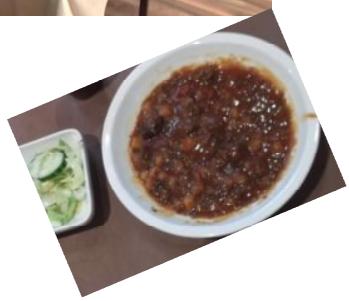
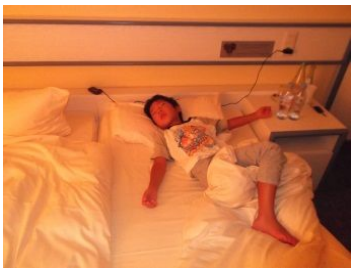
15:00 空港内で自由時間

ドイツに到着
無事全員、入国完了！

初めての買い物！

EUROの使い方
どうでしたか？

Time	contents
16:30	 輝也、ジョーズが来る！！ 大丈夫！　僕友達です!(^^)! ドイツに来た・・・・ということで、選手たちのテンションが自然と高かくなったヽ(´o`)丿 1・2・SA―Nの掛け声で、このアクション！ **いいよーこのままのテンションで10日間ずーっとこれで行こう！**
17:45	**Frankfurt airport take off to Dusserdorf airport** 本日2度目のフライト。 今度は約1時間の機内。 **たぶん、みんな寝るだろうなーーー！** **手前で寝ている相川を挟んで、野中、吉岡はギンギンに起きてマース。** デュッセルドルフ空港に近づいてきた。 眼下に見えるのは、空港の近くの街、 【ラーティンゲン】だ！！

Time	contents
18:40	**Dusseldorf Airport touchdown** デュッセルドルフ空港に到着。 預けた荷物も無事、手に取り、空港外へ。
19:30	**Hotel 着**
20:30	**Dinner at the Home** ホテルに着き各部屋にチェックイン そしてご飯。 初めてのドイツ食・・・・ お口に合いましたか？？ 外はまだ明るいよ！！
21:15	**Meeting** 
23:30	**Go to bed** 

【shinの一言】

今回で11回目を迎えたドイツ遠征。27人の選手を引率し、例年通り大人は私一人。 でも今回は、光が同行！ 俺にとってはモチベーションが上がり、楽しく10日間が過ごせそうだ！

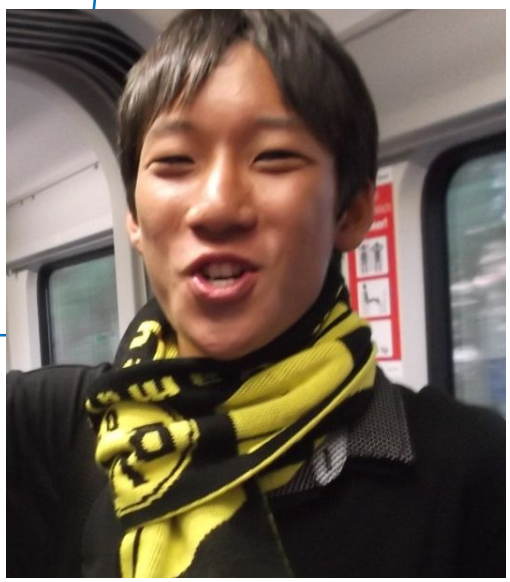
なでしこJAPANがワールドカップ優勝後、ドイツから帰国の際に乗ってきた飛行機“エアバス”が今回の飛行機。非常に居心地が良かった。エコノミークラスはどうしても狭く窮屈な感じがするのだが、今回は、ちょっとゆったりしている感じがした。そしてなにより飛行機内がきれいであった。

2回のフライト、延べで12時間のフライト、相当選手たちも疲れました。ホテルに着き、夕食時、そして後片付けと、自分のことしか考えていないような行動があらわれ、これは！？…ということで、いつもながら、ミーティングを行い、一喝した。
闘える集団になるためにも、一致団結した集団にならなければ・・・・10日間頑張っていこうと締めくくった。

今日の日記　選手より・・・

Kohei Kawai　【川合　航平】

僕が一番びっくりしたことは、外国の人としゃべると、しっかりと僕の目を見て話してくれました。それに対して僕は、びっくりして目をそらしてしまいました。 後々相手の目を見て話した方が良いと思いました。
僕は良くパスミスをします。 パスミスをする理由は、生活の中で、下を向いて生活するからだと思います。改めて生活の中の癖が、サッカーにも関わっていくと思いました。
なので、生活の中で顔を上げること、相手の目を見て話すことをやっていきたいと思いました。
僕はひー君といっぱい遊びました。 子供が好きなので、楽しかったです。
------“ありがとう” by Hikaru and shin



Kosuke Takei　【武井　虹輔】

ドイツ遠征1日目は、初めてのことばかりだったけど、、沢山のことを、体験できた貴重な1日となりました。初めて乗った飛行機では、ビデオを観たり、寝たりしてリラックスすることができました。飛んでいるときの外の景色を見たときは、感動しました。
ドイツに着いてからは、時差ボケが大変だったけど、初めてのユーロを使っての買い物や、ドイツ語を使って会話しました。買い物や会話がうまくできたときはうれしく感じました。
明日からは試合や自由行動もあるので、積極的に英語とドイツ語を使い、交流し、学んで、サッカーや人間としても成長していきたいです。

2011年8月18日(木)晴れ夕方夕立

Time	Contents
3:00	目が覚める‥‥すごい雷と豪雨で目が覚めた(@_@)
5:15	また目が覚める‥‥どうやら時差ぼけらしい‥‥＼(◎o◎)／！
7:15	**Get up** 集合　ホテル前に。
7:30	**Breakfast**

ドイツでの初めての朝。
みんなよく眠れたかな？？
時差ボケで寝不足の顔もちらほら‥‥。

寝坊する選手もいず全員集合！！

俺は光が時差ボケで5時に目を覚ましてからずーっと目がさえてしまい朝になってしまった。

朝食は、毎日同じメニュー‥というか小さいバイキングなので自分の好きなものを‥‥。
そうは言っても、チーズ、パンが主流ですね。

Time	Contents
8:00	買い物に出かけた。 宿泊したホテルの近くにスーパーがありそこへ行った。 試合に使用する水、普段飲む水 ということで、水を大量に購入！！
8:55 **9:25**	ホテルを出発 歩いて**10**分ほどの**Hilden HbF**（ヒルデン中央駅）へ行き、そこから電車に乗って、 **6**つ目の駅、**dusseldorf HbF(**デュッセルドルフ中央駅）まで行き、そこから路線バスに乗って、今日の会場である**BV04**というクラブまで行く・・・・ちょっとした旅だ。
	実は、私は試合に使用するサッカーの用具を運んだりするので、レンタカーで移動した。つまり、選手たちだけでの移動である。 ドイツ初日から、引率者なしの電車とバス移動！？ それは無理だろうということで、今日は、トビーにお手伝いをしてもらい、一緒に選手たちに同行してもらった。 トビーに場所、乗換を全部説明し、切符も購入してもらいました。 だから、安心、安心！！ とはいっても、言葉が通じない！ とりあえず英語で会話しろ！ チャレンジチャレンジと選手たちをあおって私は車で行きましたが・・・ この電車の中の写真を観れば、どんな状況だったかわかりますよね！ トビーが言いました・・・誰も話してくれませんでした！！・・と。 トビーの周りは口を一文字に結び、緊張している顔がズラリ・・・。 こりゃぁだめだ！！
10:30	 ・・・・とはいえ、何とか無事会場である**BV04**に、皆、着きました！！
10:40	クラブハウスで速攻で着替えて、**W-UP**スタート ドイツでも日本でも、やることは同じ、時間がなくても、まずはボールワークをしっかり行った。 ここ、BV04は、デュッセルドルフ市内にあるクラブチームで、1904年に創設したクラブだ。Bというのは、ボール（Ball）、Vは、クラブ（Verein)のそれぞれ略である。そして04は創設した年、下2桁だ、ドイツでは結構、創設した年をチーム名に入れるケースが多い。 内田のいるシャルケもシャルケ04っていうよね。 そしてここのクラブは、日本の高校サッカー選手権大会の優秀選手が春に遠征し、国際試合をする場所なんだよ。実は、私が1998年にドイツに留学した時、このクラブにお世話になっていて、1999年の3月、日本高校選抜チームの通訳兼お世話係をしたこともあるんだよ。 このクラブには1年半お世話になった俺にとっては重要なクラブです。

Time	contents
11:00	**Game　Kick off　vs　BV04Dusseldorf　U-17　　Platz　:　BV04**

fortuna98 Japan vs BV04 DusseldorfU-17

1 (0 — 2 / 1 — 0) 2

【GOAL】72min　佐野力

【GOAL】8min　HS、 35min

【1st】
吉岡　　原田　　守屋
（福田）
大場
望月　　伊吹
（植松）
平井　川合　横森　野中
（伊藤）
深澤

【2nd】
保坂　　青沼　　力
（赤澤）
秋山
武井　　小俣
（相川）
樹　西尾　横森　雨宮
堀江

試合の流れがどうもうまくいかない選手たち・・・・
前半のメンバーはうなだれて反省！！

【戦評】 初戦で緊張感があったにもかかわらず試合の入りは良かった。ボールも失わず、動いている・・・・ただ、点を最初に取るのは、相手だ。これが今のfのサッカーになっている。　ひとつのゴールへ向かうべく、コンビネーションができないのと、微妙にずれるパスの質で決定的な場面を作り出せないのが現状だ。結局前半2点を先行され、後半修正したが追いつけなかった。

Time	contents
13:30	バスで**Dusseldorf HBF**へ向かう。 フォルトゥナの選手の大移動！！ 今回の遠征も、公共交通手段を大いに利用し動いたなー、歩いたなー！
13:55	駅からライン河に向けて歩く。 ドイツの街並みの間を縫うようにライン河目指して歩いた。 この後自由行動に移るので、駅までの経路やどこに何があるやら…を説明しながら、行進した。 上の写真は、王様の通り　という名前がついた交差点を通過しているところ。 右の写真は　、Altstadt（下町）ヨーロッパ風の建物に囲まれながら進む。 みんなよく風景が、お似合いですよ！！ 下の写真は、デュッセルドルフ市庁舎の前で集合写真。 お決まりの集合写真は、1・2・さーんという掛け声 みんなのテンションを上げるのも一苦労です。 こんなこともやりながら、みんなの様子を、変化を観察しながら、10日間を過ごす。 俺もただばかやっているんじゃないんだよね。 心から笑顔が出ている選手、作り笑いをしている選手・・・・こういう時にてき面に出るからね。

Time	contents
14:30	**Am Rhein** 到着

デュッセルドルフ市のテレビ塔です。

建物の合間を歩いて30分、目の前が開けてきた・・・・そして大きい船が行きかうライン河にたどり着いた

ライン河バックに集合写真を撮った後、ここで自由行動ということで一時解散をした。
集合場所は、**Dusseldorf Hbf(**デュッセルドルフ駅）前だ。
集合時間は**17**:**30**、約**3**時間の自由行動に、いざ！ **“Ka･i･sa･n”**

まず、ドイツってどんな街？？ というのを体感してもらおうと・・・・いうことでこの午後の時間、本当はトレーニングをする予定でしたが、あえて、自由行動にして選手自身でドイツを体感するために、街に繰り出し自由行動とした。

みんな、お願いだから迷子になるなよ！！

“解散”の掛け声と同時に、各々グループになって、建物の中へ消えていきました。

みんな笑顔でワクワクした顔してたから、大丈夫だろう！！

頑張れ！ と言いながら見送った。

15:00	

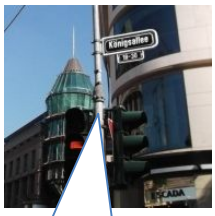
我々はちょっと遅くなった昼食 トビーと光と俺で、イタ飯屋さんへ。

俺はスパゲティボロネーゼ

トビーは特大ピザ

光は、大好き[illegible]ルボナーラ

すごーく美味しかったでーす

Time	contents
16:30	自由行動のなかで、ばったり会った選手たち これだけのグループで行動していたら‥安心。  Heinlich-heine-alle　王様の通りに面しているお堀、約150mあります 路面電車はドイツで街中を行き来するには重要な交通手段だ！
17:10	**Dusseldorf Hbf**　集合時間が近づくにつれ、選手たちが戻ってきた。 駅の正面玄関の横に陣取り、いっぱい歩いたせいか、 みんな座り込んでぐったり！！ そして、いつものことながら、買ったお土産を人のやつを物色！ 次回の買い物時の参考に！！
17:30	集合時間となった！　**3**人が戻ってこない。 **17:35**　俺の携帯が鳴った♪ 迷子になったひとりからだった。 **R**　**“**今、マックの近くにいるんですが、駅どこかわからなくなりました！**”** **S**　**“**えっ、近く歩いている人に、英語で、駅どこか聞いてごらん！！**”** （しばらくして･･･）　携帯が鳴った♪ **R**　**“**だめです。 通じません･･･聞いてもわかりません！**”** **S**　（仕方がないので･･）　**“**マックの前で待ってて**”** どこのマックか見当がついていた俺は、**3**人の元へ光と一緒に向かった。 そして無事確保！！
18:00	っということで、無事全員集合し、選手たちはトビーと共に電車で**Hotel**に帰った。
18:10	例の3人を残し･･･洗濯係りとした。 3人は、快く引き受けてくれ、しっかりみんなの洗濯物を管理した。 ここで3人と共に英語の勉強をしたのは言うまでもない！ こっちの洗濯機は、すべて横型のドラム式。 日本でもこの型、出回ってきましたよね！

Could you tell me the way to the station?

Time	contents
19:00 21:00	Hotelにて夕食 ミーティング ミーティング後は、各部屋に戻り今日の振り返りと、勉強をしました。 俺は、明日の準備と、ブログの更新・・・そして部屋でくつろいだ。

【今日の振り返り】
今日の自由行動で３人が道に迷った。アクシデントだ。　選手たちは壁に直面！
そこで、どう対応していくか？　何を考えどう行動するか？　自分の力で解決できるかどうか？
今遠征の大切な【Key Factor】だ。
何か事態が発生したら、まずは皆川まで連絡・・・そのあとどう対応するかは、それぞれ個人個人の度胸とチャレンジ精神だ！！　自分のストロングを屈指して難関を乗り越える努力をしてほしい。　そのために、電話が来ても、突き放す！！（もちろん、安全を確認したうえで・・）
今日の3人は、次の自由行動には、違った行動ができるかな・・・・期待です。　　By　shin

今日の日記　選手より・・・

Akira　Hirai　【平井　亜晃】

今日はドイツに来て初めての試合でした。ドイツ人は背が高く、体も強くて、すぐ倒されたり、ヘディングの勝負も負けてしまいました。この試合で僕は、ドリブルミスや、パスミス、トラップミスをたくさんして、相手にボールを奪われるシーンが多かったです。
明日はもっとしっかり集中して点を入れられないようにしたいと思いました。　それとパスやトラップ、ドリブルなどの基本をしっかりしてプレーしていきたいと思いました。
午後は、デュッセルドルフ市内の観光をしました。昼食は各自で店を決めて食べました。メニューが読めなくて大変だったけど、違う人が頼んでいたのが美味しそうだったので、同じのを注文、とてもおいしかったです。　このあとでスポーツショップに行きました。スポーツショップではドルトムントやシャルケのユニフォームを買うことができました。次に買い物に行くときは、友達の分もしっかり買いたいです。
ドイツで学ぶことが多いと思うので学んだことをいろいろなことに生かしていきたいです。

Ryuya　Harada【原田　竜弥】

今日はドイツの初日でした。　まず初めての電車を体験しました。日本とは違って電車の中に自転車を入れている人もいました。駅ではお金を払ったけど、日本の改札みたいな所がないので、払わなくても行けそうでした。日本とは違って緩いと思いました。
その後、初めての試合をしました。僕は全然ダメだったので今日のことを生かして明日からまた頑張っていきたいです。　午後は観光でした。　昼食は自分たちで食べたけど、メニューを頼むのに時間がかかりました。　けど何とか単語を並べて、自分たちの食べたいものを食べることができました。良かったです。　買い物は全然買っていないけど、今度行くときにお土産などをしっかり買いたいです。
今日は初体験のことばかりだったけど、楽しく過ごせました。

2011年8月19日(金)　晴れ

Time	contents
2:30	またまた目が覚める！！　完全時差ボケ！！　インターネットをつないで、ブログに、昨日の安否情報を打ち込んだ。 光は寝ながらも、2つのベットの隅から 隅まで動き、最後は万歳してこの有様！ 3回蹴られました！！
7:00	**Breakfast**　今日は朝、雨が降っていたので散歩なし。 朝のメニューはいつも通り。でもソーセージは毎日でもあきません！　うまいです。
8:10	**I went to the stor with aikawa and fukuda.** **I had to buy bottole of water and other thing.** この機械は、ペットボトル、ワインやビールの瓶などの空になったものを、この機械の中にいれると、ボトル代が戻ってきます。 すごく便利システムだと思うんだけど日本でもやればいいのにね。 水、シャンプーなどを買いました。 ドイツのスーパーも品物はいっぱいあります。
8:30	**Meeting** 今日は試合が午後からあり、その後ブンデスリーグの観戦があります。結構忙しくなり、夜も遅くなるので、午前中は、自分のことを整理するための時間としました。 絵葉書を集めて、日本への投函をする準備もこの時行いました。ミーティング場所は、ホテル3階のロビー・・・みたいな所で行いました。

It is delicious, atsuya??
Yes, it is! I'm very glad!

Pfandruckgabe

Time	contents
9:30	**Post office** へ ドイツの郵便局のシンボルカラーは、イエローだ！！

絵葉書に切手を貼り、いざっポストへ

いつ着くかな！？
お母さん、お父さん無事に頑張ってますよ。絵葉書どうでしたか？

ぶらり、ヒルデンの街中をお散歩！！

シンボルである教会！
ドイツの街には、どこにでもシンボルとなる教会がある。

11:50	**To Restaurant** 昼食の会場へ向かった。

ドイツでも信号はしっかり守らないとね。
信号は縦型！！
最初は慣れないんだよね。

12:15	**Get to Restaurant** 滞在中、お世話になったレストラン。 ここ日本でいうと、役所分庁舎みたいなところ･･･その建物の**4**階にある社員レストランです。でも、近所の民間の人たちも結構食べに来るそうです。なぜなら、**“**安い、うまい･･･！！**”** 肉あり、魚料理あり、サラダもいっぱい、カレー、シチューもあり、そして飲み物も飲みたい放題**…**食べ物もお代わり自由、本当に良かったです。

Time	contents
13:00	昼食終了　レストランのある建物の前で **“1･2･SA--N”** このまま、今日の試合会場へ移動する。 駅へ歩いて向かった。 きれいな住宅街（アパート）を行く。

駅へ向かう途中にトビーの家がある。 今日は俺が電車で向かい、トビーに車で用具を運んでもらう。
車に乗り込む守屋君！

後方がトビーの家。

13:20	**Hiden Hbf**

駅のホームでもみんな元気でーす。
電車の中でも、みんな元気でーす。
試合会場についても、みんな元気でーす。

14:00	**Get to SG Unterrath**

Time	contents
15:00	**Game Kick off vs SG Unterrath U-17 Platz : Unterrath**

fortuna98 Japan vs SG Unterrath U-17

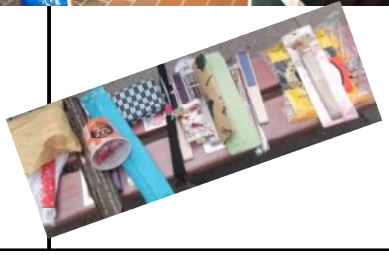
1	(	0 — 1 1 — 1	)	2

【GOAL】 50min 吉岡

【GOAL】 26min、 43min

【1st】
樹（守屋） 青沼 福田（武井）
大場
望月 伊吹
平井（力） 川合 横森 野中
深澤

【2nd】
小俣 原田（遼平） 吉岡
赤澤
守屋 植松（秋山）
西尾（保坂） 伊藤 横森 雨宮（相川）
深澤



【戦評】
今日も、ほぼ試合の流れは昨日と同様。 リズムはいいのだが、決定機を作れず逆に、一瞬を突かれ失点を許す・・・そんな試合だった。 相手はU-17ということで、ちょっとお兄ちゃんで、でかい！それにもひるまず向かって、ゴールを目指してチャレンジしていくことを、やらなければいけないとわかっているのだが、ここ一番というところの努力というか、そのチャンスに感じない・・というか、楽をしているというか、観てても感動してこない！ボディコンタクトの部分でも 相手に寄せられると、体をぶつけていくことができず、ボールを失ってしまう、吹っ飛ばされるシーンが多かった・・・・課題である。
まだまだ上品なお嬢様サッカーを演じているので、そろそろガツーンと言うべきかな・・・と感じた。 この壁を抜けきらないとドイツに来て試合をしている意味がなくなる。
我々は旅行に来ているわけではない・・・・戦いに来ていることを忘れないように！！

Time	contents
17:00	**Unterrath Bh** グランド上はグランド、ここからは気持ちを切り替えて、楽しくサッカー観戦だ！ ブンデスリーグの観戦、Jリーグじゃないぞ！
17:07	さぁーこれからブンデスリーグ観戦のため、 **Dusseldorf Hbf** 経由で、スタジアムへ 電車で向かう。 **ここで事件が起きる！！　その事件を起こしたのは？** **スバリ・・・・この二人　↓↓**
18:10	**Get to Stadium** 時間はすでに**18**時を回っている。急がないと・・・。

Unterrath駅に電車が来た。“さぁみんな乗って” の合図に、一斉に電車に乗った。ホームを見渡すと誰もfの選手はいない・・・みんな乗ったな！　扉が閉まり、電車が動き出した。・・・・すると、ホームに見慣れた日本人のような中学生のような2人が目を丸くして、しまったそうな顔をして立っていた。
俺は思わず “えっ” “何してる…あの二人！！” すぐ一人の携帯へ電話し連絡を取った。 どうやらみんなとは違う車両に乗ったんだけど、二人しかいなかったから心細くなり、違う車両に乗り換えようと思い、電車から降りた、その瞬間に扉が閉まってしまったらしい・・・。 キックオフまでの時間がないので、ゆっくりしてもいられないので、まずは電車を乗り換えるところまで我々先行組は向かった。二人には次くる電車に乗るように指示した。そこに来る電車は、とりあえずすべてデュッセルドルフ駅には向かうはずだから・・・。
デュッセルドルフ駅で、車で先に着いていたトビーに事態を説明、先行組の選手たちを先につれてスタジアムに向かってもらった。
俺と光は、2人をホームで待った。着いた時の顔が左上の写真！！ ちなみに冷や汗で首に巻いたタオルがびしょびしょだったらしい(笑)
2人と合流し、電車2本遅れでスタジアムに向かった。

ジャーン！！

this is the Bundesuleague

スタジアムに着き、手荷物検査のところまで来たら前方に、fの選手たちが…追いついた！
スタジアム観客席の階段でも、テンションはうなぎのぼりだ！　もうすでにキックオフされている・・・・場内の応援の声が湧き上がる声が外まで響き渡っている。
この雰囲気を、選手たちに味わってもらえれば・・・・。

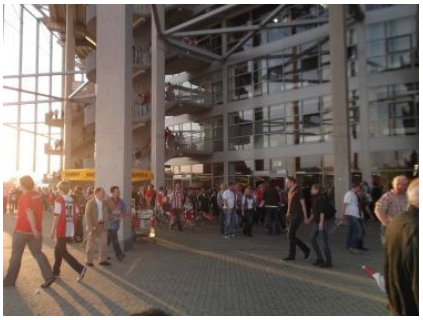
目の前に、スタジアム全体が入ってきた。何度来ても、観てもこの雰囲気には鳥肌が立つ！！

Time	contents
18:10	**Look at soccer Game of Bundesleague in ESPLITarena,** **Fortuna95 Dusseldorf vs 1860 Munchen**

試合はホームのF95が、圧倒し、
3－1で勝利！
だからスタジアムも最後まで盛り
上がっていた。
対戦相手の1860ミュンヘンは、
俺がS級の海外インターシップ
でお世話になったチームでした。

みんなが食べているのは、特
大のソーセージ。
パンとセットになっていて、これ
が絶品！！
This is the Germany

20:50	試合終了　ホテルへの帰路　すごい混雑！！ みんな、迷子にならないようにしっかりついてきて！ と、でかい声をかけながら 帰りの電車へと向かった。



ちなみに今日のスタジアムは、ドイツ
ワールドカップ前に日本がドイツ代
表とトレーニングマッチ（2－2）を
行ったスタジアムなんですよ。
当時のジーコジャパン、そのドイツ
戦がピークだった。

その後の本番では3連敗でしたね。

路面電車のホームには、次々
と乗客がスタジアムから移動し、
大混雑。

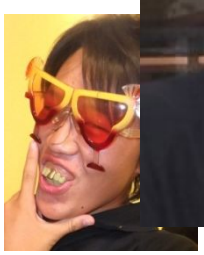
昨年のケルンでの迷子事件を
思い出し、今回はそうならない
ように、全員同じ電車に乗せた。

Time	contents
21:10	デュッセルドルフ中央駅まで行き、そこでまた選手たちとは別行動。 選手たちのホテルまでの帰路は、トビーにお願いした。 ありがとね。 今日の事件を起こした2人ともう一人を連れ、反省会を兼ねて、洗濯場へと向かった。 車いっぱいの洗濯物、28人分のユニフォームやら下着やら練習着やら、とにかくいっぱいです。洗濯機も8台使用しています。 毎日の洗濯に必ず付き合ってくれる光。もう手際をわかっていて、選手への指導係りは光です。 お前も働かないとね(笑)
22:00	**Meeting in the Hotel**

今日の日記　選手より・・・

Yuhi Hosaka 【保坂　勇飛】

ドイツ遠征3日目で、一番印象に残ったのは、何と言ってもブンデスリーグ2部の試合観戦だ。この試合観戦では、驚くことばかりだった。まず、サポータにびっくりした。数の多さもすごかったけど、なによりサポーターが自分の気持ちを思いっきり表に出して応援していたことに驚いた。 点が入った時とか、チャンスになった時などは、本当にスタジアムが揺れているような感じがした。 そして、選手もサポーターの期待に応えるために、一人ひとりが勝ちにこだわり、ちゃんと闘っているのが、とても伝わってくることがすごいと思った。
この試合を観て思ったことや感じたことを忘れないように、しっかりと心に刻んで、あと残りの6日間ガンバっていきたい。



Keito Moriya 【守屋　圭人】

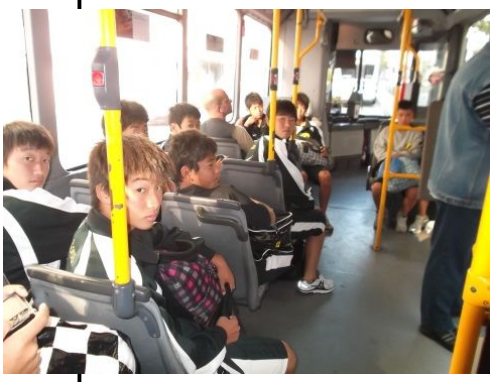
僕はドイツ遠征に行って学んだことが2つあります。 一つは言葉が通じなくても、何とかすれば伝わるということです。僕は英語が苦手だけど、頑張って伝えたら通じました。買い物をするときは全く伝わらなくて困りましたが、ジェスチャーで伝えることができます。
2つ目はサッカーです。 ドイツ人は皆、体が強くて僕は吹っ飛ばされました。でも、僕は体が強いのに負けるのは嫌だと思い、踏ん張りました。その後からは、倒されないでボールを奪うことができたと思います。パス回しも早く、最初は追いつけなかったけど、だんだんボールを奪うことができました。 これからも心掛けていきたいと思います。

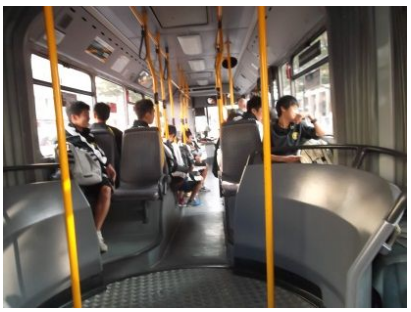
2011年8月20日(土)　晴れ

Time	contents
7:00	**Get up**
7:20	**Breakfast**
8:00	**Go out to Station Hilden.**
8:20	電車出発 通勤時間でもあるが、まだ学校も夏休み、会社員の長期休暇を取っている人たちも多いのか、電車がすいている。 みんな競争で座席を確保していた。
8:40	今度はバスに乗り換え。
9:10	**Fortuna95**に到着

今日も、一日のスケジュールは忙しく詰まっている。 試合とブンデスリーグ観戦。 今日は特に、試合はFortuna対決、 ブンデスリーグは香川選手の所属するドルトムントの試合だ。

駅前のバス乗り場でバスを待つ。
みんな元気が良くて助かります。





乗ったバスは、2連式。
前後の車両をつないでいるターン式の連結場所、ここに立っているとちょっと気持ちが悪くなる(笑)

いよいよ、フォルトゥナダービー。
ロッカールームでも緊張感が漂う。
絶対勝ちにこだわって闘っていくぞ！　と送り出した。

Time	contents
10:00	**Game　Kick off　vs　Fortuna95 D'dorf U-15　　Platz ： Fringerbroich**

fortuna98 Japan vs Fortuna95 U-15

4	2	—	1	2
	2	—	1	
	0	—	0	

【GOAL】10min　平井
13min　石橋
50min　大場
53min　原田

【GOAL】16min、 55min

【1st】
平井　　青沼　　小俣
大場
望月　　守屋
樹　　伊藤　　横森　　野中
堀江

【2nd】
福田　　原田　　吉岡
大場
伊吹　　植松
武井　　川合　　横森　　野中
堀江

【3rd】
保坂　　遼平　　力
赤澤
秋山　　望月
相川　　雨宮　　川合　　西尾
深澤

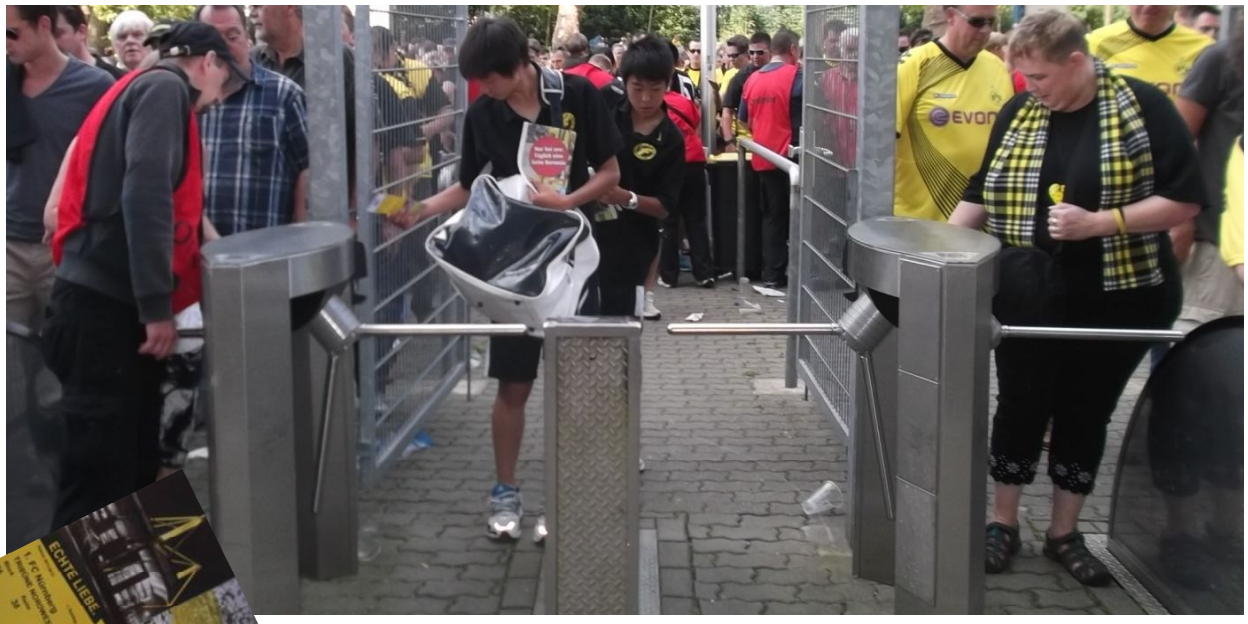
【戦評】 今日の相手は、今までの年上と違って、同級生か一つ下の選手たちだ。 会場に着き、相手チームの監督を探すと、もうロッカールームで選手と共にミーティングをしていた。聞くと、5日前に同じく日本の大宮アルディージャに大差で負けたらしい。日本のチームに早々負けるわけにはいかないらしい。 今日は絶対に勝つといわれた。　試合が始まると選手たち、思ったより体が動き、そして闘っていた。 ドイツ人にも、体の大きさにも慣れてきたのか、動きながら、そして相手の視野から外れながらリズムよくボールを動かし、ゴールへ向かっていた。それが4得点につながった。 しかし、守備では、点を取った後、すぐ失点を繰り返した。課題として残った。いずれにしても、今日は勝ちにこだわり試合に臨んだので、勝ったことは収穫！！　気持ちよく試合を終えた。

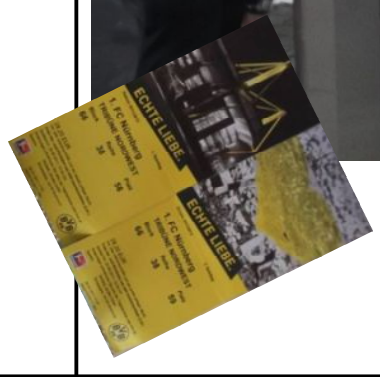
Time	contents
11:45	試合終了 ドイツでの初勝利で、シャワールームでも選手たちは大はしゃぎだった。
12:10	**Lunch in Restaurant of Fortuna95** 昨年はカレーライスだったが、今年はスパゲティだ。単純な料理だが、とてもおいしかった。 フォルトゥナ・デュッセルドルフの過去の栄光である写真が壁いっぱいに貼ってあった。 食事後、貸し切りバスで移動のため、バスを待った。 この時間もみんな陽気だった。
13:05	**Start by Bus.** ドルトムントまでの時間、キックオフまでに着くには電車で行ったのでは間に合わないということで、貸し切りバスで移動。 俺も選手たちと一緒にバスに同乗。 ここはバスの運転手に任せて、ほっと一息。 みんな、この後ぐっすり昼寝を堪能した(笑))

Time	contents
14:15	スタジアム近くの駐車場に到着し、バスを降りて、スタジアムまで歩いた。

バスを降りて、スタジアムまでの約10分間、黄色のユニフォームを着たサポーターがいっぱい。片手にビールのコップを持ち、大騒ぎの人もいる。
そんな中、俺たち日本人の集団をみるなり、“KA・GA・WA”と声をかけてくる。
それに続いて、周りの人たちが、“shinji”と合わせてくる。すごい盛り上がりようだ。　大きなドルトムントのスタジアムが目の前に現れると、選手たちも圧倒されたように、ぽかーんと口が空き、そのまま止まっていた。

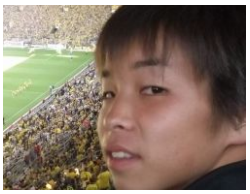
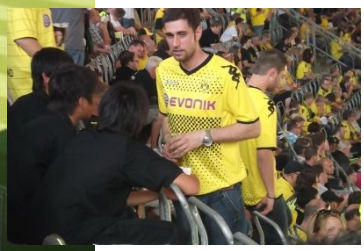
いよいよスタジアムの中へ。ここのスタジアムの観客席は、他よりちょっと傾斜が急にできていて、どこの観客席でも、臨場感を感じられるスタジアムだ。
私にとっては3回目の訪問。
さぁーーーっとその前にコントロールが入った。荷物検査、チケット検査



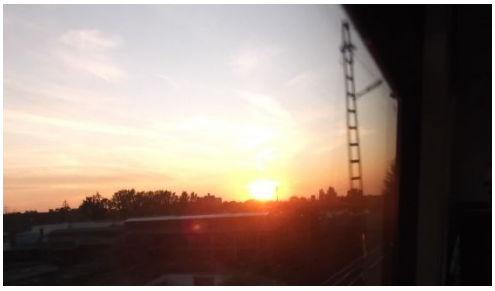


大丈夫？？　脩斗？　　ペットボトル持ってない？
チケットどうした？　後ろの虹輔が急き立てる。
あれまだ、ゲートが開かないけど・・・大丈夫？？

Time	contents
15:00	スタジアム内へ入場　っということで、無事コントロールも通過し、全員着席。 これがスタジアム内部の全容だ！！ サッカーコートを中心に約80,000人が座れる観客席、そのすべてを屋根がカバーしている。 そして、観客席のほとんどが黄色、黄色、きいろ アウエー席の一部を除けば、あとはドルトムントサポーターばかり、我々もそのサポーターに囲まれた。でもなぜか心地よい・・・黄色だからか！？ 試合前に両チームの先発メンバーが発表された。 香川選手が出場するかどうか心配でしたが、しっかりスタメンで23番KAGAWA出場します。 選手入場前には、サポーターが一つとなってチームの歌を斉唱、すごいとしか言いようがなく…鳥肌連発です。 あっあれどさくさにまみれて、川合がタオル掲げて、一緒に合唱してる！！
15:30	**GAME Kick OFF** **BVB05 Borussia Dortmund vs 1FC Nurnberg** 選手入場 そしてセレモニー、万国共通だ。 スタジアムの盛り上がりも最高潮！

Time	contents
	試合中は、ピッチにくぎ付けでした。ドイツのサポーターは良くサッカーを知っています。 良いプレーにはちゃんと拍手をしてたたえていた。   にやけている海!！ ハーフタイム、なぜか守屋と青沼のところにドイツ人が寄ってきて話しかけていた。 何語で話してんだろう？？あの二人、何か外国人をひきつける香水でもつけたかな？
17:30	試合終了 ゆっくりスタジアムの外へ。 試合に2－0で勝利したのでドルトムントのサポーターはご機嫌！！ 逆にアウエーのサポーターは、ポリスに守られ一団となって電車の乗り場まで行進（上の写真） 試合後、隣接するファンショップに立ち寄る。またここがすごい混みようで、入場者を人数制限していた。 ドルトムントサポーターが勝利に酔い、あっちこっちで大騒ぎ！！ 酔った男性が光と海に香川の写真が入ったコップをくれた。 この後、すごい合唱が永遠と‥。

Time	contents
	スタジアムから路面電車の駅に向かう間、ドルトムントサポーターの合間を縫って歩いていくと、**“KAGAWA”**という声があちこちから聞こえてきた。 ここで一発はじけてやるか！　と、みんなを代表して私が、 **“KA･GA･WA”**と大きい声で言うと、**“Shinji”**と選手たちが合唱した。 これが発端となり、駅までの間、路面電車の中まで、およそ**30**分くらい大合唱の連続となった。 電車の中ではビール片手に完全に乗りまくっている青年、呆れた顔しながらも寛容な笑顔で対応してくれているおばちゃんやら、すごい光景が続いた。
19:**00**	**Dortmund Hbf**(ドルトムント中央駅)のホームにやっと着き、疲れ果て座る選手たち。 ホームに着き、やっと安らぎを感じたのか、ホームでどっかり座り込む選手が目立った。 どうだった？すごいだろう？　と問いかけると、日本ではありえないです。すごい感動しました！　と言ってくれた。 この雰囲気を味わってほしかったんです・・・・俺は。 サッカーってすごいパワー持ってるってことを味わってほしかったんです。 ちょっと大人げなくばかになり大声をだした甲斐がありました。
19:**06**	ちょっと遅れて到着した電車に乗り込み、デュッセルドルフへ。

Time	contents
20:**30**	電車の中 電車の中で日没を迎えた。 キレーだなーーー。 山梨で日が沈む夕日をしみじみ観ることはない。 こんな時間もほしい歳になったかなー！  トビーとは今日でお別れ。 彼はこの4日間、我々のチームのために、自分の長期夏休みでオランダに行くのを延期してお手伝いをしてくれた。俺としては本当に助かりました。 選手たちとは、あまり話ができませんでしたが・・・光とはコミュニケーションとれたかな？ 明日からのオランダ、楽しんできてください。
21:**00**	**Dinner in the Hotel**
21:**15**	**Start to laundry in Dusseldorf by car.** 今日の洗濯係りは、この**3**人 →→→ 光も一緒に洗濯係り？？ 光はランドリーにあるこのゲームをするのが楽しみ！！ ねっ、ひーくん。
23:**00**	洗濯からホテルに戻った。 今日も忙しかったです。 疲れました！！ 早く寝ましょ！！

【shinのひとり言】
今日はいい天気でした。 そんな中で、試合ではフォルトゥナダービー、試合観戦では、ドルトムントの試合・・とかなり内容の濃い1日となった。
Fortuna95の対戦相手には、以前ホームステイを受け入れてくれた家庭の子が、14歳になっていてフォルトゥナの選手として活躍していることが分かった。当時は、ヒルデン03のEユースでプレーしていた小さい子だったのに、いつの間にやら、こんなにうまくなっていて…驚きでした。 お母さんにも久しぶりに会いました。覚えてくれて、実は向こうから声をかけてくれました。うれしかったです。
おじいちゃんがいて、そのおじいちゃんが作ってくれたパエリアは、それはそれは最高においしかったです。もう今遠征も11回目になり、選手たちは毎回が初めての場所ですが、俺にとっては、11回目、いろいろな人と知り合いになり、ドイツのふるさと的な街になっています。 By shin

今日の日記　選手より・・・

Shogo　Omata　【小俣　翔悟】

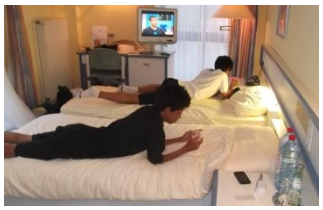
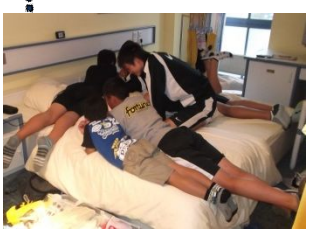
ドイツ遠征4日目で、みんな、だんだんとドイツに慣れてきたころ。今日はフォルトゥナダービーがありました。絶対に負けられない試合なので、みんな朝から気合が入っている様子でした。 しかし、朝食の時間を間違えてしまいました。でも、そんなことは気にせず、私たちは朝食を食べて、試合会場に向かいました。
試合の結果は、4－2で勝ちました。みんなよく闘っていて、初めての勝利を得ることができました。 しかし、僕がもっとシュートをしっかりと決めていれば、もっと点を取ることができたと思います。 試合の後、みんなでシャワーを浴びました。そこでは、大場のシャワーから熱湯が出てきて大騒ぎでした。

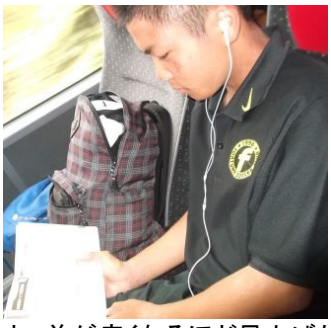
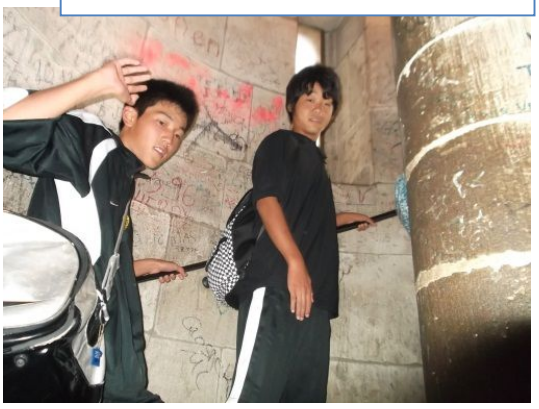
その後、昼食を食べて、ドルトムントの試合観戦に行きました。 僕は初めて観るのでとても楽しみでした。 特に香川選手が好きなので、生で観るのはとっても嬉しいです。 実際会場に入って試合が始まると、歓声や応援がとてもすごく、鳥肌が立ちました。 試合は2－0でドルトムントが勝利しました。 けど香川選手のプレーはもう少し見たかったです。その後サポーターと香川コールを言ったり、握手したりしたのがとても印象的でした。サポーターの心の広さに感動しました。 とてもいい1日でした。

Yudai　Horie　【堀江　雄大】

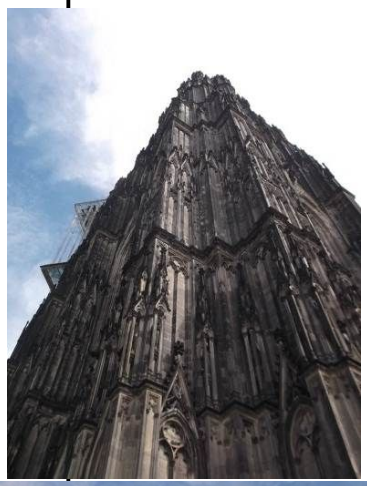
　僕は前日、熱をだして寝込んでいて、チームに迷惑をかけてしまったので、 今日からは、これまでよりもチームに関わりたいと思っていました。そして、熱を出した日は、フォルトゥナデュッセルドルフのトップチームの試合を観られなかったので、今日のドルトムントの試合は絶対に観たいと思っていました。今日の朝は、ちょっと遅めの朝食を食べて、フォルトゥナ95と試合をしに出発しました。 フォルトゥナ95は、同年代とは思えないほど体が大きくて、がっしりしていました。でもみんな怯むことなく立ち向かい、見事4－2で勝利することができました。
　そして、勝利した良い気分のまま、バスに乗り込み、、楽しみにしていたドルトムントの試合観戦に行きました。 ドルトムントに着くと、歩道に黄色のユニフォームを着たサポーターがめっちゃたくさんいてびっくりしました。スタジアムに入るともう応援の声だしが始まっていて、ボルテージがだんだん上がってきました。 試合が始まるとスタジアムのいたるところから声援が聞こえてく、とても大きな歓声が響いていました。 そして後半、ドルトムントが点を入れた瞬間、スタジアム全体から、すっごい歓声が一気に巻き起こり、スタジアムが揺れに揺れました。
この試合を観て、自分たちも、このドイツ遠征が終わったら、少しでもこんな試合に近づきたいと思いました。

2011年8月21日(日)晴れくもり

Time	contents
7:45	**Get up その後 Meeting in front of the Hotel.** 朝、ホテル前に集合。 昨日忙しい日を過ごしたので、今朝はちょっとゆっくりの起床・・・・・ あれ？でも人が足りなくない？ 25人しかいないぞ！？ 誰だ？まだ寝てるのは？？ （答えは今日の最後にわかります）
8:00	**Breakfast** 5日目に突入！ 選手たちは、少々疲れ気味！？ そりゃ無理もなく・・ずーっと気が張っていたようだし、結構ハードスケジュールだったからね。
9:00	今日はケルンへ観光に出かけ、そのままケルンで試合となる。 次の集合は、**11:00**。 それまでは、各自フリータイムとした。 **フリータイムの過ごし方状況** ここは？ ここは？？ ここも！  ここも！ ここもだ！！ 結局、みんな部屋でゲーム、ゲーム、ゲーム。 せめて勉強くらいしろよ！ 
11:10	貸し切りバスでケルンへ**GO**ーーー これからケルンへ行って恒例のドームの頂上のぼりとショッピング、そして試合だ。 試合の場所が、交通の便が悪いところだそうで、当初は電車で行く予定でしたが貸し切りバスで行くことになった。 今日は、あまりよくない日になる・・・・・ショッピングもできない、数少ない買ったものがなくなってしまう・・・ 出発の時は、そんなことは想像すらせず Let's go！

Time	contents
11:40	ケルンへ向かう途中、母なる大河ライン河を渡る。 美しいライン河には目もくれず、必死にドイツ語の勉強をする輝也！ この地道な努力が最後には実を結ぶんだよね！！ 
12:10	**Get to Koln**. ケルンに到着。 ケルンドームの前に到着。 バスから降りると、首が痛くなるほど見上げた **Kolner Dome** さぁ、みんな、ここでお土産買うぞー！！ まずは、お決まりのドーム前での記念撮影 それから、ドーム内の見学、 それから、ドーム頂上へ登山、 そして、自由行動・・・・・ っとこんなスケジュールになりますよ！！ 1・2・SA―N ドーム前に集合、なかなかドーム全体をカバーできない。 でかすぎる！！ さぁー記念撮影するよ。いい顔して！ この理性ある知的な面々。 こんな神妙な表情もできるんだよね・・・・・・・・では、1・2・SA-N ドームの内部を見学後、 頂上へ向けて、階段を上る。俺は下で待っている予定でしたが、光がどうしても上りたいということで同行(‘_’) 

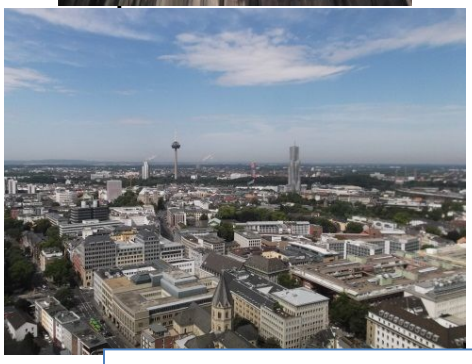
Time	Contents



狭い周り階段を上っていくと、急に視界が開けてくるところに出る。 そこが右の写真。中央に鉄骨でできた最後の階段。 これが結構怖い！！

高所恐怖症の人には、ちょっと無理かも。

ドームの外が、しっかり見えてきて、すごく高く感じるところだ。
この3人もちょっとギブアップ状態。



そうはいっても、苦労しても登ったところは、気持ちが良く、眺めも最高ヽ(o)ノ
天気も良く、遠くまで見えました。

12:40

“さぁ、これからショッピングの時間です。” “銀行へ行く方は、俺についてきて！”
“集合時間は、3時間後の15:45です。” “ここ、今いる場所に集合だよ”
“困ったら電話して！” “では、KA･I･SA･N”

っということで皆、街中に消えてきました。 俺も光と一緒に、お土産を買わなければならないので、急いで街中へ・・・・・・。

あら、・・・・・・あら、(もうちょっと行ってみる・・・)、あら、 店が閉まってる！
それにあまり人がいない。 手をつないだ老夫婦がウインドショッピングを楽しんでいるくらいで・・・・・・
あれっ！？　そうだ！！　今日は、今日は・・・・・

Today is Sunday!?　日曜日だ！！

店がやっているのは、レストランかカフェ、それとファーストフード店くらいで、あとはすべて閉まっていた。 大失敗です。
曜日をすっかり忘れてました。 3時間、どうやって過ごう！？
選手たちからこりゃ後で大ブーイングだな！

右の写真、後方にあるのはデパートだけど、誰もいません。
これ噴水なんだけど、水もお休みみたいです(‘_’)

Time	contents
15:**00**	やることないので、予定より早く集合場所へ。 すると、もうこんなに選手たちが集まっていた。 選手たちから突き刺す冷たい視線！！ 写真でもわかるように、ほとんどの選手たちが、 何も買っていないようです。だって、買い物袋の姿 かたちも見えません・・・・。 選手たちに、どうだった？　と問いかけると、 店どこもやってませんでした！！　と、合唱されました。
16:**00**	っということで、選手たちも無事時間より早く集合し、試合会場へ向かうバスへの乗り込みました。
16:**40**	試合会場へ到着　場所は**Bonn**市内　ここは旧西ドイツ時代の首都があったところですね。 **Bonn**は、私が留学時、一番最初に滞在したところです。 **1995**年**4**月から**7**月まで、語学学校の寮に入ってドイツ語の勉強を一生懸命集中してやっていたところでした。 **Bonn**、首都のあったところ、政治の中心という街とは思えないほど田舎です。本当ですよ。 静かないい街ですけどね。 さて、グランドに着き、また問題、クラブハウスのトイレが使用できない・・・・ということ。 みんな、バスの中で我慢していたトイレ、結局クラブハウス横の林の中で済ませた。 このトイレの無かったことが、思いもよらない事件に発展する。
17:**00**	**W-UP**　スタート ちょっと試合開始までは時間があったので、 今日はミニゲームも含めて入念に、**W-UP**をした。
17:**55**	試合前のセレモニー W-UP中、会場に日本人とドイツ人のファミリーと思われる方々が両国の国旗を掲げて応援に来てくれた。 聞くと、今日の試合を地域の広報で知ったという。 そして、我々日本人チームを応援に行こうということで来てくれたらしい。 選手一同で、お礼を言い、記念撮影。 ありがとうございました。

Time	contents
18:00	Game Kick off vs Bonner SC U-15 Platz : Sportanlage T-Busch

fortuna98 Japan vs Bonner SC U-15

7	3	—	1	3
	2	—	0	
	2	—	2	

【GOAL】13min 平井
18min 平井
20min 平井
36min 植松
55min 福田
86min 小俣
89min 小俣

【GOAL】 2min
66min
83min

【1st】
平井 武井 吉岡
大場
望月 伊吹
原田 川合 横森 野中
深澤

【2nd】
福田 青沼 赤澤
小俣
守屋 植松
樹 伊藤 横森 雨宮
堀江

【3rd】
相川 遼平 力
秋山
小俣 守屋
保坂 伊藤 西尾 野中
深澤

【戦評】 今日は、ちょっと相手のW-UPの状況からして、相手をなめてかかったところがスタートに合った。それが試合開始直後の失点につながった。 そこからエンジンがかかり、ボールが回るようになってきた。そうなったら、ほぼ試合はフォルトゥナペースで進んだ。 ボディコンタクトにも慣れてきたので、体の使い方も上手になり、失うどころか、奪うケースもたくさん見られた。
ボールへの粘り強さも出てきて、サッカーを楽しんでるって感じが伝わってくるゲームであった。

しかし、途中からサッカーどころではない事件が勃発。 1本目が終了した時だろうか・・・・バスの運転手さんが血相かいて俺のところに来て、バスが車上あらしに遭ったと言ってきた。 えっ一瞬耳を疑ったが、運転手さんのあわてた様子からこれは事実だと察した。運転手さんのバックはすべて盗まれたらしい。 我々の荷物、俺のは大丈夫、いつも手元に持っていた。あとはどれくらい選手たちがバスに物を置いてきたかということだ。試合に出てない選手に、バスに行き確認させた。どうやら5・6人の荷物がやられたみたいだ(‘_’)

Time	contents
	事のいきさつはこうだ！　クラブハウスのトイレが使用できないことはいいましたね。 って試合前に、トイレに行きたくなった選手たちが大勢いて、見かねた運転手さんが、バスのトイレを使っていいよ‥ということで使用させていただきました。何人かいたので、バスのカギを開けて、バスの運転手さんは、背中越しにバスがある中で、我々の試合を観ていたんです。 最後のトイレ使用者が、バスの運転手に一声かければよかったらしいのですが、試合が始まってしまうということでそのまま、ピッチの方へ来てしまい、バスはそのまま施錠せず、扉があいたままの状態だったみたいです。しばらくして運転手さんがバスに戻ってみると、自分の置いたはずのバックがなくなっていて、盗難に気が付いたというわけです。 選手たちにそれぞれ、バスの中の自分の持ち物を確認させると、6人が、持参したi-podや買ったお土産などを盗まれてしまったようです。 高価なi-pod、自分のお気に入りの音楽が入っているものを盗まれたショックを考えると、本当にいたたまれませんが、起こってしまったことは仕方がない。 その後、現地の警察も来て、調書をしっかり取ってもらいました。 犯人が捕まればいいのですが、やはり相当難しい…とのことでした。 運転手さんは、自分の家の鍵やら財布やら車の鍵まで、またいろいろなカードも含めて盗まれてしまったようで、すごく落ち込んでいたはずですが、仕事上に起きてしまったことなので、すごく責任を感じて、我々の選手たちの盗難を最後まで気にしてくれました。
20:**15**	警察の調書も終わり、**Bonn**を後にしました。 帰りのバスの中は、仲間のことを気ずかい、しーんとした雰囲気でした。
21:**15**	**Come back to the Hotel**
21:**20**	**Meeting** 後　洗濯にコインランドリーに出かけました。 本日の洗濯係りは、このふたり↓↓↓ 今朝寝坊したこのふたりが洗濯係りです。 大量の洗濯物を担いで行ってきました。 **23**:**00**過ぎにホテルに戻り、 各部屋に洗濯物を配りました。

中間メッセージ･･･選手より･･･

ドイツの人は、明るく積極的で、自己主張をしっかりできて、そんなところを学んでいきたいと思った。試合観戦では、選手たちの激しいボディコンタクトがすごく、スタンドにいる僕にもその音を感じることができました。ドイツ人は常にゴールを意識し、常にシュートを狙っているので、それに対応できるようにしようと思います。
By CHIKARA

ドイツは言葉が通じないので、ジュースを買うのにも、勇気がいるし、ちゃんと伝えないと、相手に伝わらないので、一つ一つの行動が緊張の連続だけど、片言の英語とジェスチャーで人に伝わった時の感動も感じられて良い体験です。
By SUNPEI

ドイツに来てすごく楽しいです。日本に戻ってもしっかりとサッカー頑張りたいです。スタジアムでドイツ人に話しかけられた。なんて言っているか？だけど、すごくうれしかったです。
サッカーでは、センターフォワードでプレーしました。いろいろ考えながら、意識してプレーすると楽しいです。
By ATSUYA

今日の日記　選手より・・・

Masatoshi Nishio　【西尾　優俊】

まず、朝、海と駿平が寝坊し、集合時間に遅刻しました。話を聞くと、間違えて日本時間でアラームをかけてしまったらしく、細かいことをしっかり確認することが大切だと思いました。
そして、午前中にケルンの大聖堂へ行きました。大聖堂は、とても大きくて驚きました。上へ登るときは、大体500段程度の階段を上りました。正直きつかったけど、前向きに考えると、ちょっとしたトレーニングになりました。少し考え方を変えただけで、やる気が出てきます。前向きに考えることは大切だなと感じました。
そして自由時間のあと、試合会場へ行きました。試合中に、みんなの不注意でバスの鍵が開きっぱなしになったところを、泥棒に入られ、沢山のものが盗まれてしまいました。被害がある人、なかった人がいたけど、チームのことだから、やはりみんなショックをうけていました。僕はこういう時に、チームメイト同士で、励ましあっていくことが大切だと感じました。あと人の物を盗むというのは、人を傷つけたり、自分自身も立場が悪くなるだけなのに、なぜするのか不思議です。僕は、人のことを考え行動したいと思いました。僕はこのドイツ遠征にこれたこと、沢山の人に感謝したいです。

Yuta　Nonaka　【野中　祐太】

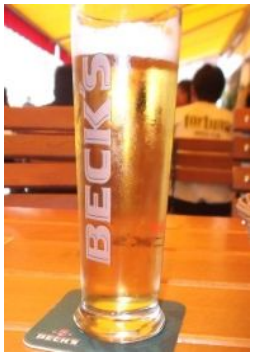
今日、21日はバスの中に置いておいた物が盗まれてしまう事件がありました。この日までは、ドイツ人のみんな楽しくて優しい人がいて、とてもよい国だと感じていました。
今日は、午前中、ケルン市内で楽しく観光して、午後は試合をして問題なく過ごせる予定でしたが、試合中に僕らのバスに盗みが入ってきて、お土産や衣類、カバンが盗まれたりして、チームメイトに被害が出ました。
その中の一人として、僕もミュージックプレーヤーを盗まれてしまいました。ミュージックプレーヤの中には大切なものが入っていたので、とてもショックを受けました。・・・ですが、そんな僕をみんなが元気づけてくれました。　運転手さんも、僕よりたくさんの物を盗まれたのに、自分のことより僕らのことを気遣ってくれました。そうやっていろいろな人が関わってくれました。
この事件によって、ドイツの怖さを知りましたが、僕は改めて思いやりと周りの人の大切さを知りました。
だから、この事件を教訓にして、思いやりを持ってさらにチームが向上するように、みんなで頑張っていきたいと思います。

2011年8月22日(月)くもり/雨

Time	contents
7:00	**Get up** そして、朝食**Breakfast**
8:15	買い物 **Lidl**に、水とシャンプーを買いに行った。 ついでにたまりにたまったペットボトルの空ボトルを返却に！ 機械の調子が悪く時間がかかりました。
9:30	**Hilden Hbf**から、電車でデュッセルドルフ市内へ 俺は、選手二人を乗せ、光と一緒に車で向かった。 トビーはもういません。選手だけで、デュッセルドルフの駅前にいけるかな？？ キャプテン横森にしっかり説明し、あとは選手たちに任せ、車で向かった。 当然、電車の方が早く着き、行ってみるとちゃんと待ってくれました。 たくましくなりました。
10:10	今日こそ、買い物ができるぞ！ っていうか、もう最後のお土産を買うチャンスかもしれない。 っということで、この駅前で **“KA･I･SA･N”** となりました。 集合時間は、**17:00** です。**7**時間の自由行動です。 **この時間、選手と一緒にならなかったので、画像が光のしかありませんが・・・**

デパートの一角にあったチョコレート売り場。 その中心に、チョコの泉がありました。

Time	contents
13:00	**Altstadt** 下町で食事のためにレストランを探していると、観たことがあるジャージ軍団が目に入ってきました。



っということで、ここで光と俺は食事をすることとしました。
こっちへ来てから落ち着いて、ビールも飲んでなかったので、ここで一杯、飲みました。

うまかった！！

もうすでにメニューを観て注文済み。
大丈夫？？って声かけたら、
“大丈夫！！”笑顔でした。

俺もここで食べていい？？
いいですよ、どうぞ！！

16:40	集合場所へ、ぞくぞく選手たちが集まり始めていました。

17:05	**Dusseldorf**中央駅から電車で今日の試合会場へ

電車の改札は、自動切符改札　これで切符にスタンプする。

17:35	試合会場の **TURU Dusseldorf** に到着。

ここまでも、選手たちだけで、やってきた。
無事合流。 もう大丈夫みたいです。
今日の相手は、相当手強いようです。
頑張ろう！！

Time	contents
17:45	ロッカールームへ 7時間の自由行動、いっぱい歩いてきたところで、これから試合。でもみんないい顔してます。 これは楽しみです。
18:10	**W-UP** スタート 朝から降っていた雨もやみ、心地よい天気になり、これまでで一番強いという相手に、どこまで闘えるか？ W-UPにも力が入ります。
19:25	試合前のセレモニー 今日の相手は、一つ歳上の選手たち。

Time	contents
19:30	**Game　Kick off　vs　TURU Dusseldorf　U-17　Platz　:　TURU D'dorf**

fortuna98 Japan vs TURU Dusseldorf U-17

1	1	—	5	7
	0	—	2	

【GOAL】6min　青沼

【GOAL】22min　23min
27min　34min
40min　60min
78min

【1st】
平井　青沼　守屋
大場
望月　伊吹
原田　川合　横森　野中
（伊藤）
深澤

【2nd】
福田　植松　吉岡
大場
伊吹　守屋
樹　伊藤　横森　野中
（雨宮）
堀江

【戦評】 昨日までのテンポとは全く違って、プレッシャーが早く、これこそが、時間もスペースもないスピーディなサッカーだと感じる相手だった。 評判通りの非常に良いチームであった。
スタート20分間は、完全にペースを握り、相手ゴールを脅かす場面も何度か作り、6分には右サイドから崩し、中央の青沼が決め先制をした。 サイドからの崩しの部分では、今遠征中に質が上がってきたところだ。
しかし、やはりペナルティエリア付近からシュートまでのアイディアが今一つ、相手が今日のようなチームになると通じなくなる。日本でも、Jリーグの下部組織になると、相手にならなくなっていくのと同じことだ。
パスの質、判断の速さと質、技術の向上はまだまだ継続して追及していかなければならない。
それにしても、良い試合をやっていて1-0で勝っていて、1失点したとたんに崩れ始めた。 まるで関東クラブユース選手権のFC東京むさし戦そのままだった。 一瞬のすきを突かれ…失点、とは言うものの、そこのリスクマネジメントと、攻守の切り替え時の意識の低さには、今だ修正されていないことがよーくわかった。
前半で5失点！！ 守備のところはもう一度日本に帰ってやり直しだ！！
全般的には、局面局面では、選手たち非常によく頑張ったと思うし、闘っていたと感じる。 でもそれでも7失点ということは、力が足りないということだろう。

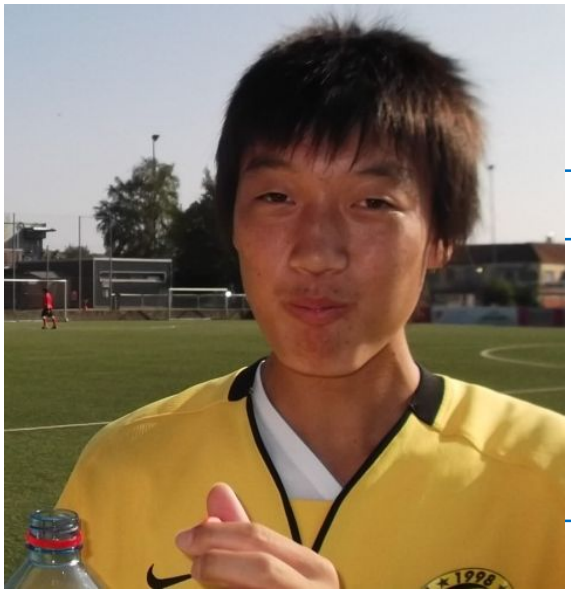
Time	contents
21:15	試合終了後、シャワーを浴び、このクラブのレストランで夕食となった。 今日は美濃村氏☞も試合に駆けつけてくれた。 今後の打ち合わせも兼ねて一緒に夕食も共にした。 食事の最後は、今夜の夕食を作ってくれたマスター夫妻と記念撮影。 来年も来いよ！と誘ってくれた。 ぜひ行きたいですね。 でも、新しいチームと一緒ですね。 美濃村氏　↑ 1回目の遠征からお世話になっています。美野村氏がいなかったらこの遠征は、スタートから成り立っていません。すごくフォルトゥナにとっては重要な人です。
22:15	
22:27	**Volksgarten**　駅から電車乗った。
23:00	ホテルにやっと到着。長い一日だったね。

【shinのひとり言】
週末が過ぎ、月曜日、ドイツに来てから5日間、休み暇なく、試合観戦、観光、そして毎日ゲームを行い、結構忙しい日を送ってきた。　ゲームも2勝2敗と徐々にドイツ人とサッカーができるようになり、選手達も慣れてきたドイツの文化とサッカーを満喫しているようだ。　今日は昨日できなかった買い物をした。もう後半は自由行動をとる時間がないので、日中トレーニングを行う予定でしたが、ショッピングの時間にあてた。　選手たちは、モチベーション高く、笑顔で街に向かって行った。約7時間、うまく時間を使えるか？道に迷うことがないか？心配ではあったが、そこは選手たちの行動に信頼をおき、解散した。　途中雨が降るあいにくの天気であったが、時折見かける選手たちは声をかけても元気と笑顔がいっぱいだった。アルトシュタットでご飯食べる所を探していると、ひとグループがレストランのテラスに座っていた。光がここにしようっと言って座ってしまったので、俺も隣に座った。食事の注文の仕方方もジェスチャーを加えて説明しながら注文し、ナイフ・フォークの使い方も板につき、支払時もチップを上げることも忘れずにおいていた。　17：00集合、ほとんどの選手が時間前には戻ってきていた。　いくつもの袋を抱えて・・・・昨日の事件もあり、みんな荷物に関しては、それぞれでお互い注意をしていた。子供の成長は早い…とよく言われますが、選手たちの対応力、順応力も相当早く、頼もしい限りです。
今回の遠征では、全力でプレーすることと、思いやりをもつことをキーファクターとしています。昨日の事件で、仲間のことを思いやる大切さをまた認識してくれただろう。　　By　shin

今日の日記　選手より・・・

Ryohei　Sano　【佐野　遼平】

今日はもう22日です。ドイツでの生活にもだいぶなれました。 7時間程度、デュッセルドルフ市内を自由に歩き回りました。
最初は、「fan　more」 というサッカーショップに行きました。フォルトゥナ・デュッセルドルフの物だけでなく、ドルトムント、シャルケ04、バイエルン・ミュンヘンといったたくさんのチームグッズが揃っていて何を買うか迷ったあげく、ドルトムントの腕時計を買いました。次に、大きなスポーツショップに行きました。そこでもドルトムントグッズを買いました。 昼飯は、日本食の店でおにぎりと味噌汁を食べました。久しく口にしてなかった日本食は、とてもおいしく感じました。 午後はデパートを回りました。特に何も買いませんでしたが、雰囲気は味わえました。 また、デュッセルドルフの街並みはとてもきれいでした。日本とは全く違う洋風の建物が並んでいました。ドイツの食文化で驚いたことは、まず野菜が少なく、重いものが多いということ。そして飲み物がほぼ炭酸入りということです。 水でさえ炭酸入りでした。 あと2日頑張ります。



Shuto Ito　【伊藤　脩斗】

僕が初めて体験したことは、デパートやスポーツショップでの買い物です。日本ではあまりお金を使いませんが、ここはドイツなので、日本で買えないものをどんどん買ってしまいます。 なので日本でもドイツでも、本当に必要なのか、必要ではないかを考えて、今後買い物をしていきたいです。

2011年8月23日　晴れ

Time	contents
7:30	**Get up**　今日は朝、初めて光が、寝起きが悪く、すったもんだしていたら集合時間に遅れた。みんなに白い目で見られた･･･。
7:45	**Running**　ホテルの前は広い牧場で、その周りを走るコースを**4**周。 今日は午後からオランダに行って試合だ。 午前中は、何もないというか自由行動なので、その前にちょっとプレッシャーをかけた。 早朝の牧場は気持ちがいいね。 天気が良かったので、馬も外で牧草を食べていた。 走る選手たちと一緒に走っている馬もいた。
8:40	**Breakfast** 光もドイツのパンは大好きです。 毎回チョコクリームをしっかり塗って食べていました。 毎日の洗濯は、車で約20分くらいかかる、デュッセルドルフ市内のコインランドリーへ行っている。 あいにくヒルデン市内にはランドリーがなく、ホテルでもリアルタイムでできないので、ちょっと遠いけど、車で出かけます。 そこはマシンが何台もあるので、待たされることはないので、安心です。 時間も計算できるのでOKです。
9:30	コインランドリーへ向かった。 今日の洗濯係りは、守屋、青沼、武井でした。

Time	contents
13:00	**Lunch** 昼食はいつものところ。

ここのレストランの食事はみんな楽しみのようです。
メニューもいっぱいあるし、ドリンクも飲み放題だし・・・。
そして何より美味しい！！

食事後、ホテルに戻る途中。

洋風の建物が並ぶ住宅街。
これはみんなアパート形式です。
道路側は、ちゃんとデコレートしきれいなんだよね。

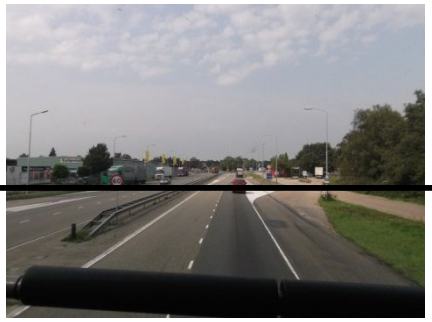
道路側と反対側は、何があるかというと、1階の住人の庭があります。 ドイツ人は庭も凄く凝りますよ。

みんなの前にあるごみ収集箱がちょっと邪魔でしたね。

14:00	バスが向かいに来て、いざ、オランダの出発！！

まだまだドイツにいたいなー　お母さんお父さん今頃何してるかなー・・・・

この2階建てバス、乗り心地最高でした・・・が運転手さんが怖い人でした！！
選手たちが歩くとすぐ注意されました。
2階の一番前、初めて乗りましたが、視界良好・全開で最高でしたね、
秋山君！？

Time	contents
	ホテルから30分ほど走ったろうか！ **Autobahn**（高速道路）を走っていると、いよいよオランダとの国境に近づいてきた。 線より奥がオランダ 線より手前は ドイ  EURO圏内はコントロールがない。 陸続きな国々へどんどん行くことができる。 イタリア、スイス、ベルギー、フランス、チェコそしてオランダ、私が車でこれまで行ったところだ。 オランダに入ると、当然のことながら、道路標識がオランダ語になった。 **15**:**05** 会場である**Venlo**に到着。 着いてすぐロッカールームに入り、着替えた。 今日の相手も強いチームらしい。 昨日の試合でちょっと手ごたえがあった前半。 今日は、今一度しっかり準備をして、望んでいく。 Venloのスタジアムから、ちょっと離れたところに、育成専用のグランドがある。ここにはサッカー場が5面ほどあった。人工芝、天然芝、とてもきれいなグランド。 こんな広大なグランドはオランダのあっちこっちにある。 うらやましい！！ 選手のみんなが着替えている間、光と一足先にグランドへ。そしてピッチで二人でボールを蹴った。 気持ちがいいでーす。

Time	contents
	オランダでの天気は最高でした。 良い天気に恵まれました。

雲が多少目についたが、青空が広がり気持ちの良い雰囲気であった。

沢山のサッカーコートに囲まれた中で、W-UPをしたが、モチベーションはかなり上がっていた・・・・が、ゲームの内容は？？？？？

16:00 **Game Kick off vs VVV Venlo U-16 Platz : AH Venlo**（オランダ）

fortuna98 Japan vs VVV Venlo U-16

2 (1 — 3 / 1 — 2) **5**

【GOAL】13min 樹
65min 樹

【GOAL】10min 20min
25min
48min 73min

【1st】
秋山 遼平 小俣
（石橋）
大場
望月 植松
相川 川合 横森 野中
堀江

【2nd】
平井 武井 吉岡
（石橋）
大場
伊吹 守屋
伊藤 西尾 横森 野中
（雨宮）
深澤

樹のゴールシーン

Time	contents

試合終了後、相手選手との握手。

【戦評】 今日の試合は、振り返りたくないほど、ひどかった！　人もボールも動かすサッカーがうちのサッカー、つまりパスがうちの心臓部なのに、そのパスが通らない・・・というか、パスにならない。つまり相手の早いプレッシャーの中で、慌てたノージャッジのパスばかりで、受け手もポジションが取れず、ほとんどのパスがボールを失う…という状態であった。
相手チームの守備は非常に、ポジションどりが良かったし、fの選手のプレー（特にパス）を読みがうまく、インターセプトされる場面が特に目立った。 マッチアップする選手を観つつ、中間ポジションを取り、間を狙うパスを出させといて奪う…どの選手もしっかり訓練されているなと感じた。
その中で後半の野中のプレー（ドリブル突破）からチャンスを作り、樹が得点を決めたプレーは、パスのリズムが良くなかっただけに、有効的なドリブルでの打開であった。
いずれにしても、今回のこの試合は、試合後、非常に選手たちも疲れた状態であった。 7日目になり、口には出さないが、疲れがたまってきているのは事実だと感じた。 今日は静かにしていようと・・・終了後も、一切小言は言わなかった。

今回オランダのチームとやってみて、非常に良いチームだと感じた。年齢は同じ年と一つ上のくらいの選手たちであった。 しっかりトレーニングを積み、試合の中でもまじめにチームプレーと、それぞれ持っているストロングをプレーしていた。 スタッフも4人いたが、我々を歓迎してくれた。
ロッカールームを最後に出る時も、また来年も来いよ！と声をかけてくれたのは、うれしかった。 リスペクトしてくれているなと感じ感激した。ぜひ来年もチャンスがあったら期待と思う。
ロッカールームを出るときは、シャワールームも含めて、しっかり後片付けと掃除をしていきました。

Venloのスタッフ・選手の皆様本当にありがとうございました。

Time	contents
18:**50**	ホテルに戻った。
19:**20**	そこにドイツ人の**Bender**さんが待っていた。 このあと**Jur**さんと**Minomura**さんも合流し、来年のドイツ遠征について話をした。 昨年、今回とできなかったホームステイ、試合のコーディネートなどなど、来季の遠征の様々なことを打ち合わせした。 **U-14**の選手たち、お楽しみに！！
21:**30**	ちょっと遅くなってしまったが、コインランドリーに出かけた。

今日の洗濯係りは、伊吹、吉岡、そして野中だ。 毎日試合をやっているので、結局毎日洗濯に来ている…というか今日は2回目だ。

まぁ、洗濯に行くときは、息抜きだと思って行ってます。
光もいつものリュックをしょって大活躍！

今日の日記　選手より・・・

Atsuya　Aonuma　【青沼　敦弥】

今日は、オランダでVVVフェンロと試合をしました。結果は2－5で負けてしまいました。内容も全然よくなかったです。 チームは前半声が出ていなく、相手に3点取られてしまったが、後半はいい形で得点することができた。
個人的には、日にちが経つにつれて良くなくなっていて、この試合では簡単にボールを失ってしまって何もできなかった。
ドイツ遠征は、もう少しで終わってしまうけど、日本に帰ってもしっかり頑張りたいです。

Chikara　Sano　【佐野　力】

今日は、昨日の試合で負けたので、朝からランニングをした。コースはホテルの前の牧場の周りを4周だったけど、ドイツの朝は、とても涼しかったので走りやすくてよかった。
午前は、OFFだったので、それぞれが自由にすごし、僕は音楽を聴いてリラックスをして過ごすことができた。
午後はオランダで試合だったので、バスでオランダへ移動した。オランダでは英語を使って話していた時もあったので、オランダの人は何語を話すのか少し疑問に思った。 試合ではVVVフェンロのU-16チームと戦って負けてしまいました。ドイツに来てから今日までの間、個人としてもチームとしても課題が見つかったので、明日のドイツ遠征最終日にしっかりと改善していきたいと思いました。 また、このドイツ遠征で得たものや課題を9月10日に向けて生かしていきたいと思いました。
明日はいよいよドイツ最終日です。悔いが残らないようにしたいです。

2011年8月24日　晴れ

Time	contents
7:30	起床・集合

今朝も心地よい朝だった。
疲れもピークとなり、光も朝起きれなかった。 それと、力、秋山、青沼、伊藤の4人が寝坊で集合しなかった。

今日は、午前中、残りの買い物をしたりしなければならない。ヒルデンの街中へ行って、ビール、ソーセージの買い物だ。 特にビールは、選手たちが日本にお土産として持っていくのを手配しないと・・・・。

8:30 ミーティング

そして今日は最終日、明日は朝早くホテルを出発です。
そのために、ちょっと荷造りをそれぞれしていかないと、今夜とんでもないことになるよ・・・・と、また時間はたくさんあるから、うまく使って自分のやりたいことをするように・・・・とミーティングで話をし、昼飯まで自由行動とした。

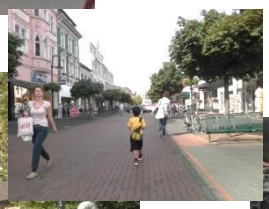
ミーティング後、堀江が俺のところにやってきて、

“皆川さん、デュッセルドルフに行ってきていいですか？買い物に行きたいので。”
“もちろんOK、一人で行くの？”
“輝也が一緒に行きます”
“OK、何かあったら電話して、気を付けていって来いよ！”

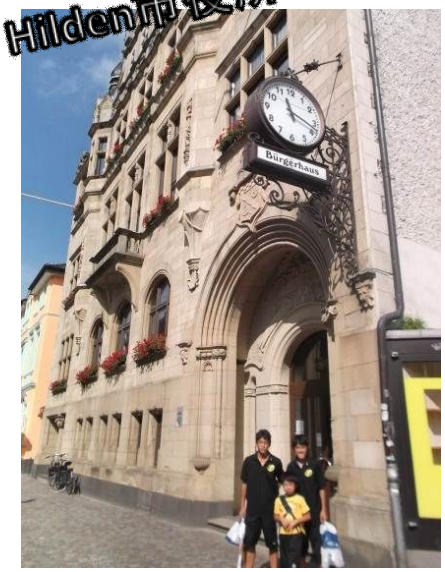
と、あたかも日本にいるみたいに送り出した。
でも、この行動力というか…これを待っていたんです。
実は、昨日も、今日も午前中は、フリータイムでした。普通のツアー旅行だったら、分刻みでスケジュールが詰まっていて、さぁ出かけるよ、移動するよ・・・・となるんでしょうけど、 我々は違います。最後の方は、いかに自主的に時間を使うか、どうドイツを楽しむか？ そこが重要なファクターなんです。
もちろん、何をしてもいいわけですから、ホテルでくつろいでもOK、街中に出てもOK、トレーニング目的で走りに行ってもOK、そしてちょっと遠出に行ってもOK。
見事、二人でデュッセルドルフに電車で行き、お目当ての物をゲットし、無事ホテルに戻ってきました・・・・よく頑張りました。 相当緊張したらしいけど、楽しかった…と言っていました。

私は、選手二人をつれ、ヒルデンの街中に買い物に行った。
まずは、たまっていた空のペットボトルを返却マシーンに。
その後、ビール・ソーセージを購入しにヒルデンの街へ。
すると、結構選手たちに、遭遇しました。

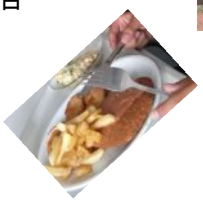
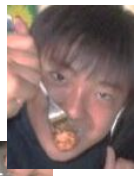
Time	contents
	Hilden 街中散策



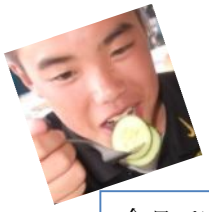
Hilden市役所



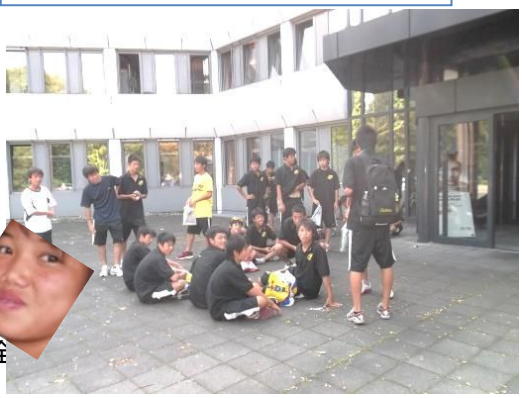
12:50 **Restaurant**の建物前集合

いくら集合場所が建物前と言っても、役所の正面玄関にドカッと座るなんて！ 部屋の中でドイツ人がどや顔でにらんでいたよ！！



今日でこの食事も最後です。
とってもおいしい食事でした。
またここのお姉さんも、快く毎回接待してくれて本当にありがとうございました。



13:30 食事後ホテル前の駐車場で、ビール販売の店を開きました。 全

先に予約が入っていたので、当然ながら全部売れました。

荷造りをしっかりしないと、プシューッと泡がスーツケースの中で破裂しますので気を付けるように・・・・・。
過去に何度かありますよ。

一緒に買い物に行ってくれた野中と力、ありがとう。

Time	contents
14:30	バスにて試合会場へ出発 遠征最終日最終試合は、ケルン市内のチームです。 チャーターバスで約1時間の移動。 バスに乗り、間もなく、バスの中は、シーンと静まり返って、いました。振り返ると、見事にみんなZZzzzZZzz みんな、お疲れですね。 あと1試合頑張っていこう！！ バスはケルン市内へ、ケルン体育大学、 1FCKolnの本拠地スタジアムの近くにあるクラブとの試合です。 そこでまずスタジアムの前に横付けし、ちょっと記念写真を・・・・。 ここは昨年ブンデスリーグを観に来たスタジアム。 騎馬隊がうろうろしていた芝生広場。 芝生広場の後方が、路面電車で2つの電車に分かれてしまって大騒ぎをしたところ・・・。懐かしい。
16:00	クラブハウスに到着 ロッカールームに入って、すぐミーティングを行った。チームの雰囲気が今一つだったので、今一度今遠征に意味と帰国してからのチームの目標を、確認した。この27人全員で目標に向かって行かないと！！ ずーっとチームのリーダーでOFFもONも緊張感を持って皆の先頭となり活動してきたキャプテン横森が今朝からダウン。 この日は、試合には出場せず、荷物番でロッカールームの前で光とボール蹴り。 チームリーダー不在ということで、もう一度団結して最終試合に臨もう！ と円陣を組んだ。

Time	contents
17:00	**Game Kick off vs Koln Taxfit U-15 Platz : Saizburger Weg Koln**

fortuna98 Japan vs Koln Taxfit U-15

5	2	—	2	2
	3	—	0	

【GOAL】 15min 武井
25min Own
49min 望月
55min 秋山
76min 大場

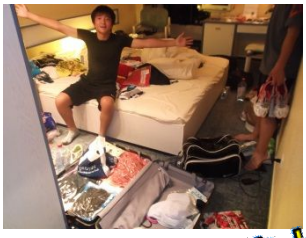
【GOAL】 10min
30min

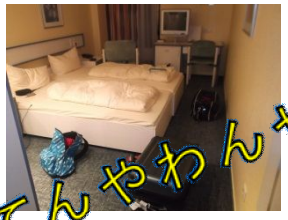
【1st】
保坂 原田 吉岡
武井
（赤澤）
守屋 伊吹
樹 伊藤 西尾 野中
深澤

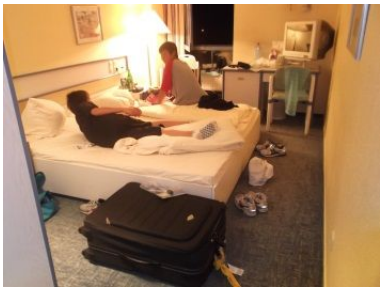
【2nd】
福田 青沼 遼平
秋山
（大場）
植松 望月
力 雨宮 川合 相川
堀江

【戦評】 今日のチームは、年齢が一つ下の選手たちだった。 ケルン体育大学の学生がスタッフとしてトレーニングしていて、選手たちは地域で選ばれた選手たち、アカデミーのようなチームだということだ。
試合は終始、フォルトゥナがリズムをとっていたが、先制点は相手チームだった。不意なファールからFKを与え失点をした。 集中が欠けたつまらないプレーであった。こういったことからすぐリズムが変化するチームなので、今後の課題ともいえる。 それからパスの質、プレーの判断は、昨日と同じように今一つだった。 疲れ疲れ…ともいえるが、周りを常に見ることとテクニックの向上は日本に帰ってからの課題となり重点トレーニング事項だ。

Time	contents
19:55	ホテルに戻った。
20:00	**We habe a Dinner.**　そして荷造りについてミーティングを行った。
20:30	**2**者面談･･･というか今回の遠征、高校の進路のことについて聞いていった。
22:30	**2**者面談も一通り終了。 各部屋を回った。
23:00	寝る。
番外	**BANGAI**

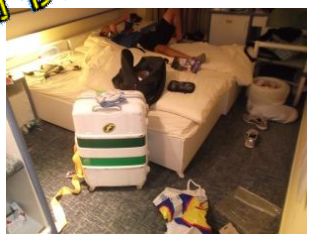


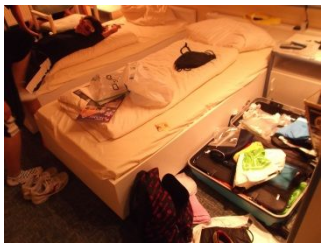




帰国前夜　荷造りで、てんやわんや！

時計の針もそろそろ23:00になる。
荷造りの様子はどうかな？と各部屋を回ってみた。
すでにきっちり整理し、スーツケースに完了させてる部屋もあれば、ぐしゃぐしゃの部屋でいったいどこから手を付けるの？？っという部屋もあれば、片付いていないのに余裕でゲームをやっている部屋もあれば････そうそうもう寝ている部屋もありました。

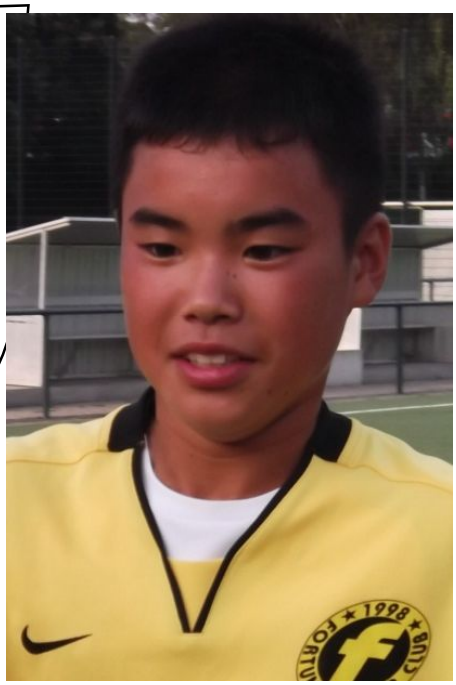




The Car　“Peugeot”
ディーゼル車であったが、すごく調子が良かったです。
ありがとう！！
ドイツでは、**8**歳以下ではまだチャイルドシートを装着しないといけません。すごい厳しいです。

今日の日記　選手より・・・

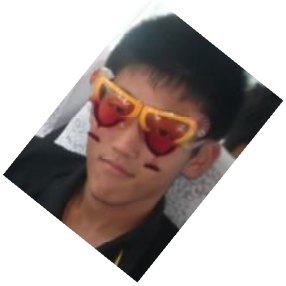
Ryo　Akiyama　【秋山　椋】



僕は、このドイツ遠征でわからなかったことがいっぱいあった。それは、まずドイツ語が全く話せず焦ってしまったことだ。 僕は勉強があまりできないのでもっとこれからは勉強して行きたいと思う。
次に僕は、自分の行動やサッカーに対するプレーが、あまり上手にできなかったり、自分のプレーがうまくいかなかったにもかかわらず、切り替えができなかったりし、チームに迷惑をかけてしまった。 単独行動の時は、僕たちは道に迷ってしまい、道を歩く人に何でもいいから話してみようと思ったが、なかなか声がかけられなかった。
だから今度からは、自分で率先して人に聞いてみようと思います。
感動したことは、ドルトムントやケルンのサッカーは、まず前に積極的に進んで、シュートコースがあればどんどんシュートを打っていた。ディフェンスの時は、絶対にボールを奪われずに最後まで体を当てていた。香川選手も小さい体で良く相手にあてていた。それを観て僕は、やっぱり香川選手は尊敬できる選手だなと思った。
最後に日本に帰っても、日々トレーニングに励んで行きたいと思います。

Yuto　Aikawa　【相川　雄杜】

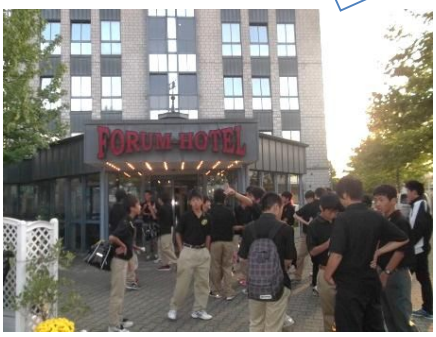
8月24日は、朝は晴れており、午後は少しだけ雨が降りましたので、すぐ晴れました。
今日の午前中は、OFFで、みんなで買い物に出かけました。みんな思い思いの物を買いとても楽しかったです。そのとき思ったのは、みんなでプレーするときや、楽しんだりするときは、すごく楽しんだなーということを改めて体験した。
午後の試合では、みんな頑張っていたのですが、皆川さんは、まだまだ僕たちにはやることが、沢山あると言い、評価はそれほどではありませんでした。僕たちは9月10日までに、その日までにやらなければならないことを見つけだし、それを習慣にしなければなりません。
ドイツ遠征の最後に、課題ができてしまったけど、なんだか大変だなぁと思うけど、うれしくもあります。なぜなら、またそれを見つけるためにみんなで頑張っていくからです。



2011年8月25日-26日晴れ/くもり

Time	contents
6:10	**Get up** 朝ごはんもそこそこに急いで帰りの支度
6:50	選手たちがスーツケースと一緒に外に降りてきた。 スーツケースをバスの中に入れ込み・・・・・

昨日の部屋のけんまくも一晩過ぎれば、スーツケースに収まり、みんな心残りの顔もしつつ、やっと日本に帰れるー…というのが本心のような安堵した顔をしている。

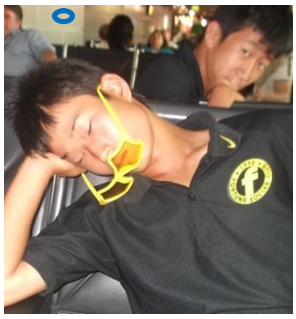
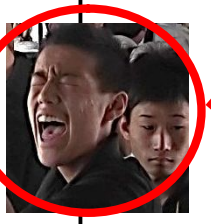


お世話になった“FORUM-HOTEL”をバックにみんなで記念撮影。
9日間よく頑張りました！！
さぁ日本に帰るぞー！！！！！

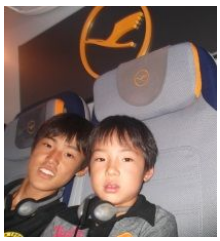
7:20	**BUS**で出発　**Dusseldorf Airport**に

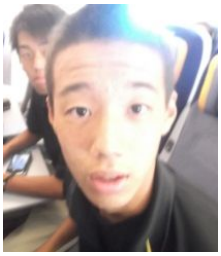
俺はバスを追っかけつつ、途中で追い越し先回りし、レンタカーを返却しなければならない。 まずは燃料満タンに・

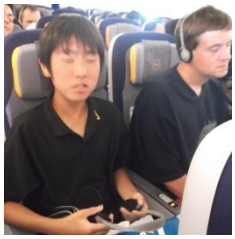
Time	contents
8:05	**Airport到着** 空港に着き、すぐチェックインをした。その前に心配なのがスーツケースの重量だ。23kgをオーバーしていると、中身の調整をしなければならない。 瀬田氏が体重計を持ってきてくれ、チェックインの前にみんな恐る恐る体重計へ。 一つ乗るごとに歓声が聞こえ、ここだけなんか異様だ！！
8:25	**Check in 無事終了** スーツケースの預け入れもスムースに終了。 飛行機の前のゲートまで行く前に、瀬田氏のあいさつ。ありがとうございました。
8:35	手荷物の検査ゲートをくぐり、飛行機の前に・・・・・ここで自由時間。 なんか、ここへきて、かなりテンションが高い・・みんな。 なんだかんだ言っても、日本に帰れるというのは、彼らにとってはうれしいことなんかな！！ 俺も早く家族に会いたいし・・・・。 でも光がいるから、あと1か月くらいいいてもいいな!(^^)! **誰に電話！？ お母さん？ 彼女？ 誰？** **野暮なことを聞いてしまいました！！** 自由時間、小銭かき集めて最後の買い物したり、ジュース飲んだり、パン食べたり・・・・。

Time	contents
	どっちの笑顔がまぶしいですか？ 小俣の白い歯のがすごくいいですね！ 守屋の付け歯！　お似合い？？ 俺のi-pod･･･ 今度ドイツに来たら泥棒捕まえてやる！！
10:40	飛行機へ まずは**Frunkfrt**へ 
10:50	**Take Off**
	あっという間に**Frunkfurt Airport**に到着。
	飛行機からバスに乗り換えターミナルへ移動。 その中に怪しい動きをしているアジア系の･････。 

Time	contents
13:00	**Frunkfurt Airport** 飛行機搭乗前にて これから乗る飛行機です。 ドイツへ来た時と同じ。 中も広々として、エコノミー席でも いつもよりちょっと広い、ゆったり感がします。
13:55	ちょっと遅れて、**Take Off** **Narita**国際空港に向けて飛び立った。
＊7:46	**Tokyo International Airport** に着陸







飛行機の中では、選手たちはバラバラでした。 それぞれ思い通りにくつろいでいたみたいです。
機内食は、ちょっと今一歩・・かな？と感じましたが、機内は快適でした。

ターミナルに着き、まず感じたのは、暑い！！実感！
暑い日本に帰ってきたんですね

Time	contents
＊8:50	 バスに乗り出発 エアコンの効いているターミナルから外に出ると、その暑さは、半端なかった。 蒸し暑い日本に帰ってくると、ドイツに帰りたーい‥と思う‥のは俺だけ！？ 帰りのバスに乗り、さぁこれから山梨に向かうよ！っと声をかけた。 すごいテンションで返事が返ってきた！ 良かったね･･･!(^^)! そうは言っても、やはりバスが走ると、だんだん睡魔が襲ってきて、夢の中に入っていく選手は、ひとり、ふたり････と増えていった。 その中で赤澤と、雨宮がこの遠征の振り返りということで、選手全員のインタビューをしてくれた。

Time	contents
＊12:25	談合坂SA　到着

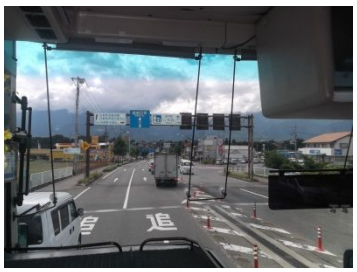
日本での遠征で、サービスエリアのラーメンは食べなれていると思うんだけど、今日のラーメンは格別！？・・・・・だよね！

駿平　怒ってる？？
この視線はどこに？？
あっ相川ラーメン食べられちゃうよ！

おなかが膨れた途端に、バスの中はシーン。

みんな寝てました。

＊14:00　**fAP**　到着



昭和インターで高速を降り、アルプス通りを西に向かい、開国橋を渡ると見慣れた景色が、迎えてくれる。

プラッツに帰ってきました。
ただいまーーーー！

【shinのひとり言】

いよいよ帰国の日、あっという間の7日間、今朝日本に向け出発した。　今回毎日やることが多く、余裕のある時間がなかった気がする。　例年、もっと余裕があり、俺も一息つける時間があったはずだけど、今回はいつもよりハードだったと思う。　毎日ゲームを行ったのも要因の一つかもしれない。でも、一つ一つのゲームに意味を持たせ、モチベーションを作り、戦いに向かっていけたことは非常に良かった。　日本に帰ってもう一度確認をし9月10日からの関東リーグ後期に向かっていきたい。

今朝は、みんな予想外に早く起き、早い帰り支度で、バスに乗り込めた。ホテルを後にするとき、お世話になったレストランのおばちゃん、フロントのお姉ちゃんにもお礼を言った。また来年も来てねと言われ、ちょっとうれしかった。

ドイツはいつ来ても、みんな暖かく迎えてくれる。　人も、天気も、言葉も、電車も、サッカーも・・・だから俺はドイツに住みたい…そのうちに。　　By　shin

今日の日記　選手より・・・

Teruya Amemiya 【雨宮 輝也】

今日は7時30分にホテルを出発し、デュッセルドルフ空港に行きました。僕はドイツでの最後の朝食をしっかり味わいました。泊まっている間、僕はほとんど同じものを食べていましたが、最後の日まで全然飽きずに食べられました。日本食も良いけど、パンが冷めていてもとても美味しくて、ずっとドイツにいたいと思いました。僕はバスの中に乗ってから周りの景色をたくさん見て、その風景を目に焼き付けました。
デュッセルドルフ空港に着いて、スーツケースの重さを計る瞬間が一番緊張しました。僕は前日の荷造りの時に、自分で持ってみて自信がありました。 しかし、オーバーしてしまった人がいたので自分ももしかしたらやばいかも・・・と少し焦りました。 結果は20kgぐらいで大丈夫だったのでホッとしました。
デュッセルドルフ空港からフランクフルト国際空港まで行く国内線は、機体が小さいせいか、少し揺れるので眠くなりました。 行も帰りも国内線は寝てしまいました。 フランクフルト国際空港に着いて20分間フリーな時間が取れたのでドイツで最後の買い物をしました。新しい物にチャレンジしてみるか、してみないかで悩んでいるうちに時間が過ぎてレジにも並んで、時間に少し遅れてしまいました。 また11時間の飛行機に乗ったけど、行よりは楽で苦になりませんでした。 お昼ごはんのざるそばがあまり美味しくなかったので残念でした。 僕はまたドイツに絶対行きたいと思いました。ドイツはサッカーに対する情熱が半端じゃないし、やさしいし、とても陽気で楽しいからです。だから絶対に行きたいです。 こんな素晴らしい体験をさせてくれた両親に感謝しています。

Ryoto Akazawa 【赤澤 凌斗】

今日はドイツ遠征の最終日でした。 この日はただ移動ばかりだったのでとても疲れました。 成田空港に着きその後に乗った山梨へ向かう帰りのバスでは、ビデオ係りということもあり、全員に「ドイツ遠征を振り返って」を聞きました。 正直、うまく撮影できているか不安です。でもしっかりやれてたので良かったです。
僕はこのドイツ遠征でたくさんのことを学ぶことができたと思います。
サッカーの面では、自分的には、もっと自分たちとドイツ人達とではかなりの差があると思っていました。確かにうまい選手は純粋に“うまいなー”と思ったけど、適わない訳じゃなかったし、もっといろいろなことができたんじゃないかと感じました。
生活や観光面では、ドイツの食事は、味が濃かったけどおいしかったです。無垢がとても多くて、野菜が少なかったのであまり健康には良くないなと思いました。
観光ではドイツは、日本とは景色や、そこにあるもの、文字などが全然違ったのでとても戸惑ってしまいました。 しかも迷子になってしまいたくさんの人に迷惑をかけてしまいました。 でもこれも僕の中では、いい経験でした。
プロの試合の観戦では、とても盛り上がっていて、選手がいいプレーをすると、拍手が起こったり点を決めたときには、一斉にみんなが立ち上がって喜んでいるのを観ていて「今、点を決めた選手はあんなにサポーターに喜んでもらえてうれしいだろうな」とずーっと思っていました。
最後に、僕はこのドイツ遠征に参加してよかったと思います。でもこういうこと

遠征を振り返って①

Shunpei Fukasawa 【深澤 駿平】

ドイツ遠征を終えて、ドイツと日本のサッカー文化の違い、言葉が通じないことの難しさを学ぶことができました。
ドイツには、ブンデスリーグというプロサッカーリーグがあります。僕たちはそのブンデスリーグの2部のフォルトゥナ・デュッセルドルフというチームと1部のドルトムントの試合を観ました。スタジアムはすごく熱気がありました。2部の試合で4万人以上、1部の試合では7万8千人以上が入ることを知り、とてもびっくりでした。やっぱり日本とは全然違うなと思いました。
僕たちもドイツのチームと試合をしました。ドイツは40分×2本か30分×3本しかしなくて、日本みたいにたくさんゲームをやらないんだと思いました。 ドイツ人はとても身長が高く、当たり負けしてしまうところもあったけど、うまくパスで切り抜けたりすることができました。ドイツ人と試合をして、遠くてもいつでもシュートを狙ってくるので、いつでも集中していないとだめだと感じました。これは日本でも当たり前のことだけど、しっかりできていなかったので、ドイツへ来て、当たり前のことがどれだけ大事かが分かった。
ドイツは、海外なのでもちろん、日本語が通じません。だから、ご飯を食べる時や何かを買うときは、とても緊張しました。でも、ドイツ人はとても優しくしてくれて、ジェスチャーや英語などでなんとか伝えようとしてくれました。それでも最終日前日の買い物の時は、すごく慣れてきてしっかり買い物ができました。国は違っても人は分かり合えるんだと感じました。

Oba Yuki 【大場 祐樹】

ドイツ遠征を終え、良い経験をすることができました。今回遠征に来られたのは、両親や祖父祖母がお金を出してくれたからです。僕は、本当に感謝しプレーで恩返しできるようにしたいです。
試合では、体をぶつけたいときに、跳ね返されてしまったり、ヘディングの競り合いで負けてしまうことがありました。しかし、テクニックの部分では通用することがわかったので、もっともっとテクニックを生かしてプレーしていくようにしたいです。
遠征中に、盗難にあってしまいました。チームの雰囲気は悪くなってしまうと思ったが、盗られてしまった人を、みんな気遣うことができて本当に良かったです。しかし、1部のチームメイトがそれに気づいていず、デリカシーの無い行動をとったのは残念でした。最後の2日間の試合では自分たちのやりたいプレーができませんでした。相手に簡単にボールを奪われてしまって、失点を重ねてしまいました。相手がどんなチームだろうと、決してビビらずに自分たちのパスサッカーをしていけるようにしたいです。
最後にこの遠征を共に戦った仲間とこれからも共に戦って行こうと思いました。これからさらに強いチームになりたいです。

遠征を振り返って②

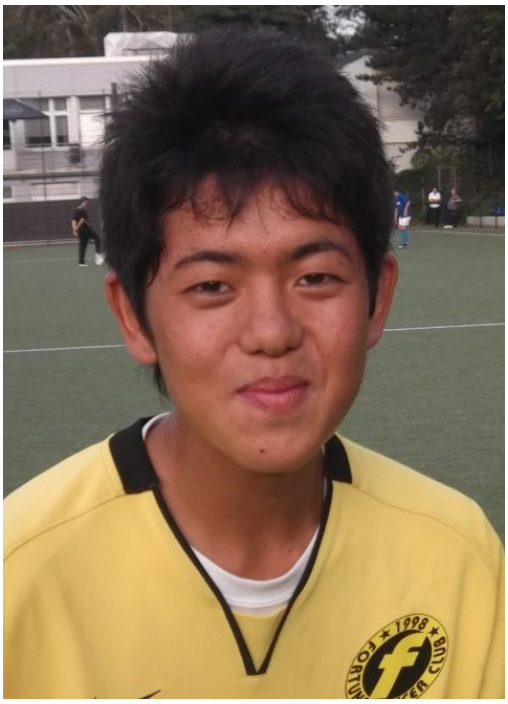
Yuhei Uematsu 【植松 優平】

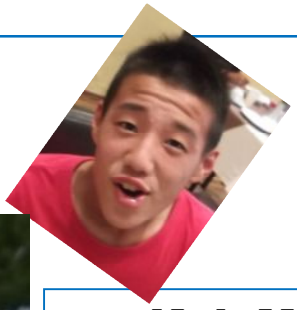
フォルトゥナに入ってからずーっと楽しみにしていたドイツ遠征が終わり、長かったようで、短かった10日間の中で、サッカーのことや、そのほかのことでも、良くなったところ、改善していかなければならない課題など発見することができました。サッカーのことでは、ボールを持っている人に対しての関わり、ボディーコンタクト、得点を決めることなどが良くなったと思います。

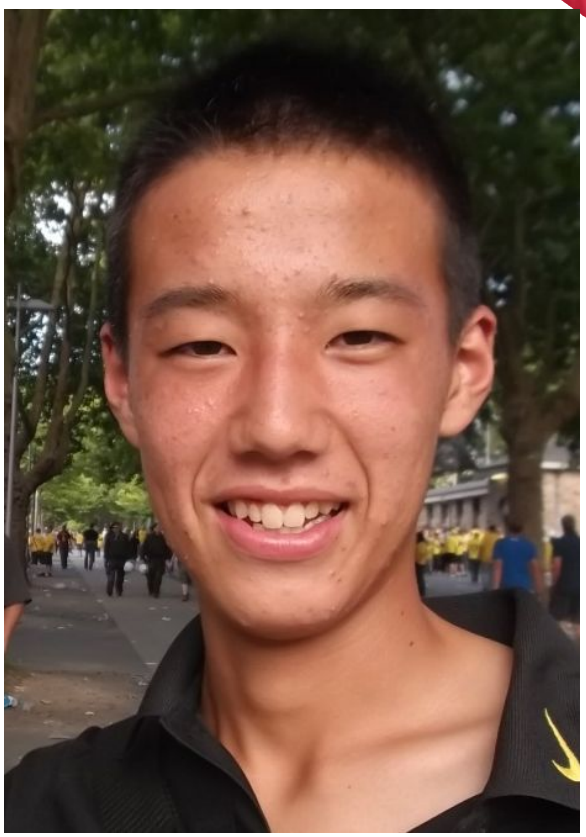
課題は、ボールを奪われない技術、もっともっと闘うハート、守備、ポジショニング、体の向きなど、まだまだたくさんあると思います。良くなったところは、さらに伸ばしていき、課題のところは9月10日、関東リーグ再開までに、最大限の努力をし、改善しなければならないと思いました。

サッカー以外では、日本語のわからないドイツ人に対し、英単語を並べたり、絵をかいたり、身振り手振りで伝えようとする積極性は良かったと思います。 課題は、あいさつやお礼など当たり前のことを必ず当たり前にできるようにすること、言葉遣いに気を付けることだと思いました。生活面のことがサッカーのプレーにも関わってくると思うので、いつも気を使って改善していきたいです。

ドイツでの貴重な経験を忘れず、日本でも日々努力し、これからの関東リーグ、高円宮杯では、自分たちのパスをつないで点を取るスタイルを貫いて、仲間のためにも、支えてくれた人のためにも勝ちたいと思います。







Kai Mochizuki 【望月 海】

ドイツ遠征で、まず試合の時に、かなり緊張していて何かビビッていたところがあった。試合をしていくうちに、自信がついてきて、自分からボールを要求するようになってきた。それはまず自分の1・2試合ではビビっていてボールを受けるのを怖がっていた・・・けど、意識して、DFの間で受けたり、前に行くことで失敗するけど、自信がだんだんついてきて、自分から要求するようになった。だから少しでも自分を前向きにやろうとすることがどれだけ大切か挑戦してみて、すごく自分に自信がついてよかった。

観光の時にスポーツショップがわからなくて、通りで歩いている3人の人に樹と場所を尋ねてみました。最初の人は、なんとか英単語を並べて聞いてみて、方向はわかった。2人目の人はさっぱり通じなくて何にも情報が得られなかった。3人目の人は、英単語を言ったら通じてすぐわかりやすく教えてくれた。うれしくて達成感があった。

2日目にデュッセルドルフに行ったときに、樹と3人目の人のところに行こうということで行ったら、その人は笑顔で握手してくれた。 声をかけて本当に良かったと思いました。

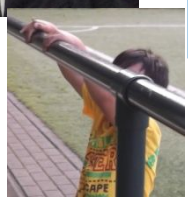
まとめ
遠征を振り返って

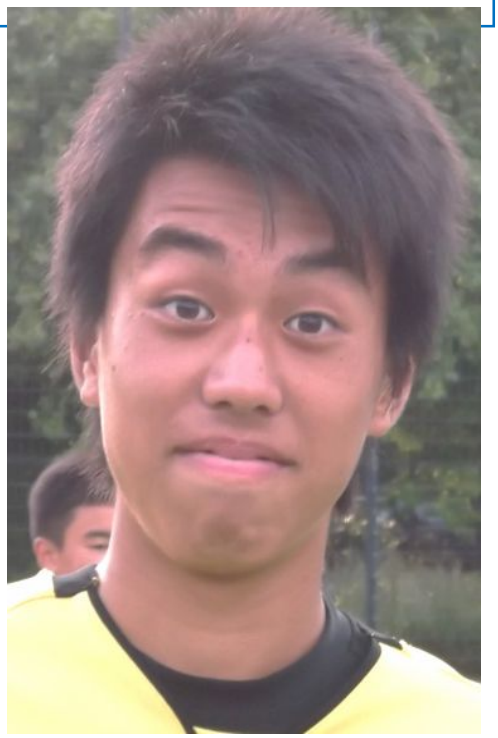
Yusuke Yokomori 【横森 祐介】

このドイツ遠征で、個人としてもチームとしても成長できた部分があると思います。まず個人的な部分では、1対1の対応がしっかりできるようになってきた。 ドイツ人は背が高く、体の大きさの違いもある中で、しっかりと1対1の対応ができました。それとドイツ人に競り合いに勝てたことも自信になりました。 これからもチームの一人ひとりに信頼されるキャプテン、そしてセンターバックになりたいです。

チーム的には、少しづつボールも回ってきているし、なにより選手が動くようになってきたと思います。 しかし、まだ、いい試合のときや悪い試合の時の差が激しいので、試合前にディスカッションしたり、コンディションの調整をしたりして、毎回いい試合ができるようになりたいです。 それにまだ、決定力不足やちょっとしたパスミスなので失点するケースが多いので、こういう細かい部分を今後の練習で修正していきたいです。

これからが大事だと思うので、気を緩めずにあらためて、気持ちを切り替えてやっていきたいです。





Hikaru Minagawa 【皆川 光】

僕は、ドイツへ行くのは2回目ですした。前に行ったときは、毎朝ドーナッツがいっぱいで、とてもおいしかったですが、今回は、ちがうホテルだったので、ドーナッツは出なかったけど、ウインナーが出ておいしかったです。ケルン大せいどうにいったのも2回目でした。かいだんで上まで上りました。上から見たけしきは、みんな小さく見えてきれいでした。それからドルトムントのし合を見に行きました。し合会場は、コートがしましまでテレビで見たのと同じでした。かがわは、シュートを入れなかったけど、かっこよかったです。帰り道や電車の中で “かがわコール”がうるさかったです。
3年生のお兄ちゃんたちと、ゲームをしたりサッカーをしたり楽しかったです。
来年も行きたいです。

ありがとう

編集後記

今回の遠征を振り返ってみると、試合を7試合、ブンデスリーグ2試合観戦・・・・とにかく、例年になくサッカーで忙しかった。リフレッシュする時間もなく、毎日行った試合・・・選手たちはドイツにいることでモチベーションは高く保たれているので、次から次へとくる活動をしっかり積み重ねていってはいるものの、徐々に体力は奪われ、加えて、言葉が通じないストレス、盗難事件・・・・などなど、心身共に疲れが溜まってきているのではないかと思う。

もちろん、そんな中でも、かなり選手たちには、考えて行動、今何をすべきか、自分でできることは自分で・・・とプレッシャーをかけ続けた。 そんな中で自分のできること・できたこと、自分一人ではできないことをみんなで解決していく方法、また様々な現象から判断してどう行動を起こしていき、そのプロセスを学んだり、思いやりをもち仲間の立場となって物事を考えたり・・・・と課題はいっぱいあり、それを体験することがこの遠征の目的である。

また、子供たちにとっては、初めてのドイツ、そしてせっかくのドイツであるので、このヨーロッパの雰囲気を満喫してもらい、俺としては良いイメージを持ちかえり、また彼らには、大人となってから、ドイツの地を踏んでほしい。また新たな発見がそこにあると思うし、今回の遠征のことを振り返ってほしいなと願いたい。

どうだったろうか？選手たちは満喫してくれただろうか？ドイツのサッカーの強さと良さを肌でそして目で感じてくれただろうか？今遠征記が皆様の手に渡るときは、すでに遠征から6か月がたとうとしています。良いお土産話をいっぱい話してくれたでしょうか？また遠征以降、子供たちの活動、態度に変化はあったでしょうか？

まだまだ中学生という成長していく過程の中で、失敗はいっぱいあるでしょうか、そんな中でチャレンジすること、あきらめずに前に進み続けることなどの変化があればドイツに遠征をした甲斐があったと思います。

夏休み以降、チームは、9月10日の関東リーグの試合に照準を合わせ進み、関東リーグ残留を目標に進んでまいりました。結果は、ご存じの通り、残留ができませんでした。結果が出なかったのは当然私の責任です。本当に悔しく悲しい日だったことを覚えています。私以上に選手たちも、悔しさを感じていたことでしょう。しかし、その日までのプロセスとみんなの努力を思い起こしてみれば、俺は選手たちを誇りに思っています。結果ももちろん重要ですが、その最良の結果を目指して一生懸命全力で努力してきました。その過程が非常に大切だといつも思っています。今3年生も本当によく頑張りました。崩れかけたチームをみんなで立て直し、みんなで強いたくましいチームにしようと・・・・・。

選手たちの日記を読み返しながら今遠征記を作成していると、昨日のことのようにドイツのことがよみがえってきました。完成を心待ちにしてくださった方々には本当に申し訳ございませんでしたが、ぜひ今遠征記をご覧になり、今一度ドイツのことを思いだしたり、子供たちのドイツでの雰囲気を味わっていただけたら幸いです。

最後になりましたが、今回の遠征にご協力をいただきました方々、また帰国後も、保険申請等（盗難により）でお手数をおかけいたしましたご父兄の皆様、ありがとうございました。 そして何より、子供たちを遠征に快く送り出していただきましたご家族の皆様、本当にありがとうございました。

文才がなく、表現力に乏しく、支離滅裂な珍道中ではありますが、お楽しみいただけたら幸いです。

PS: 遠征記の中に掲載している写真、光の画像がちょっと多いと感じた方も少なくないだろうな・・と思います。 親ばかだと反省しています。 どうか寛大な心をもってご一読ください。

2012年2月1日　フォルトゥナサッカークラブ代表　　皆　川　新　一